

2018年9月期(第18期)
第2四半期決算
および会社説明資料

2018年5月10日 証券コード：3939

株式会社カナミックネットワーク

- 1 会社概要
- 2 事業概要とビジネスモデル
- 3 業界動向
- 4 当社の強み
- 5 業績と成長戦略
- 6 事業TOPICS

1.会社概要



1-1.会社概要

商号

株式会社 カナミックネットワーク

設立

2000年(H12)10月20日

資本金

3億2,412万円（内資本準備金1億3,206万円）

上場取引所

東京証券取引所マザーズ市場（証券コード：3939）

所在地

東京本社(東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー31階)
千葉営業所(千葉県千葉市中央区富士見1-14-13千葉大栄ビル8階)
名古屋営業所(愛知県名古屋市中区栄3-8-8 名古屋平和ビル4階)
大阪営業所(大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル3階)
福岡営業所(福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル7階)

主な事業

医療・介護・子育て分野におけるクラウドサービス提供事業
医療・介護・子育て分野におけるコンテンツ広告事業

特許取得

介護支援システム及び介護支援プログラム（特許第4658225号）

受賞歴

2007年 SOHO CITY みたか ビジネスプランコンテスト2007 最優秀賞受賞
2009年 ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009 ベスト公共部門賞受賞
2010年 ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2010 特別賞受賞
2011年 ASP・SaaS・クラウドアワード2011 特別賞受賞
2012年 ASP・SaaS・クラウドアワード2012 ユーザ部門 委員会特別賞(東京大学様)
2014年 ASP・SaaS・クラウドアワード2014 ユーザ部門 総合グランプリ(楓の風様)
2016年 バイエル ライフ イノベーション アワード 2016 大賞受賞



人生を抱きしめるクラウド

子育てにはじまり、介護まで。
人の幸せを支える、クラウド技術があります。

【社名の由来】

カナミックネットワークの社名は、「介護を生き生きと活性化させるネットワークサービスを提供する」という理念から「介護（カイゴ）」と「活性化（ダイナミック）」そして「ICT（ネットワーク）」の3つのキーワードを掛け合わせて誕生しました。

【経営理念】

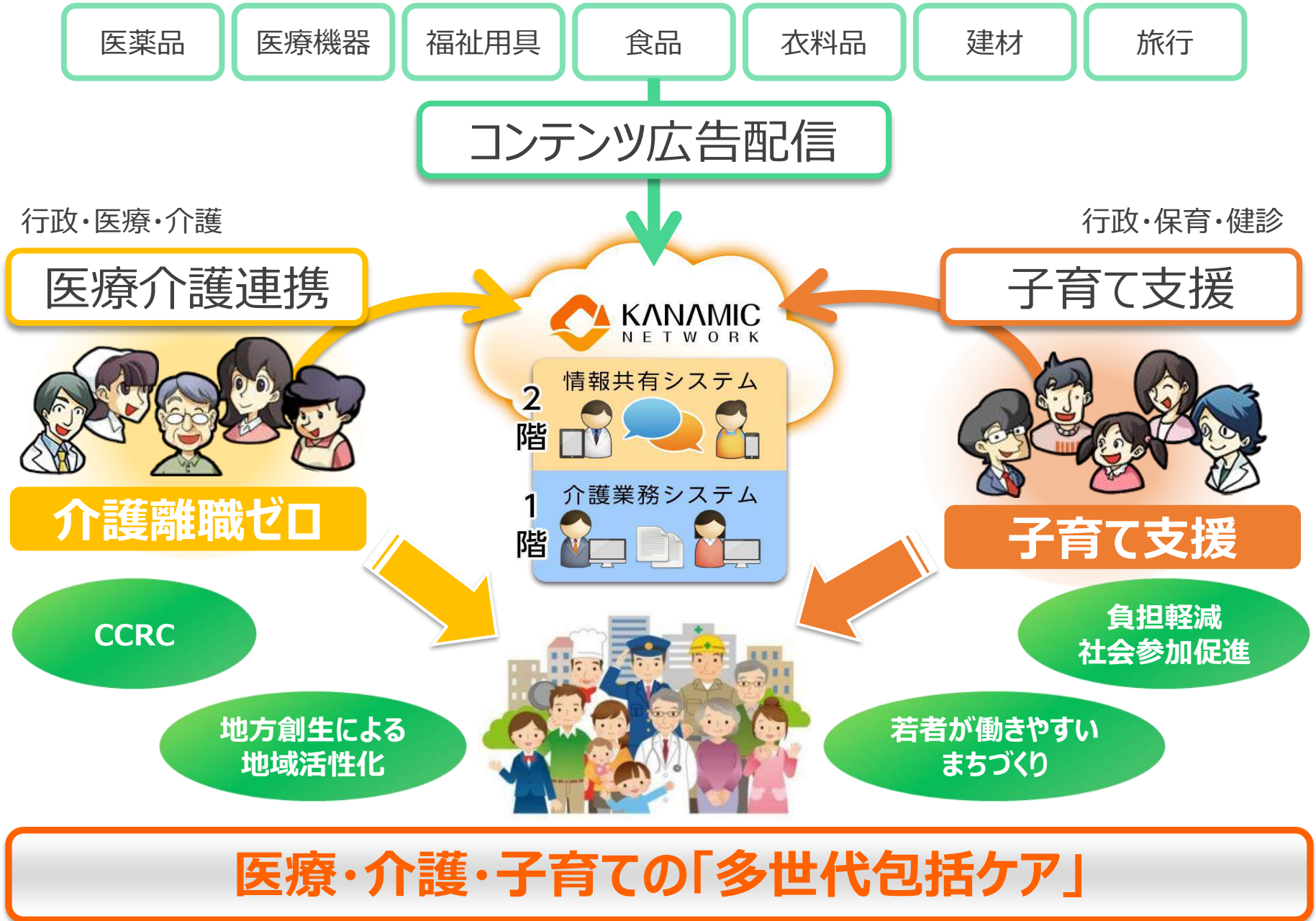
当社は「超高齢社会における地域包括ケアをクラウドで支える」という経営理念の基、医療・介護・健康情報等を法人・職種の枠を超えてリアルタイムに「情報共有」+「コミュニケーション」+「利活用」ができるICTプラットフォームを提供することで、患者・家族がより質の高い医療・介護サービスを受けられることを目指して事業を展開しております。

2. 事業概要とビジネスモデル



KANAMIC NETWORK

2-1. 私たちの目指すところ



2-2.医療介護クラウドサービス

2階層の情報共有システムは地域全体に面で導入します。

1階層の介護業務システムは、法人ごと事業所ごとに導入を行います。

クラウドサービス

※他にも多数の機能がございます

2階層

【有料対象顧客】

- ・自治体
- ・医師会
- ・中核病院
- ・在宅医

情報共有システム



コミュニティ



掲示板(ケアレポート)



サービスカレンダー



おくすり手帳
お薬手帳



メッセージ機能



タイムライン
タイムライン



フェイスシート
フェイスシート



アセスメント
(認定調査票)
アセスメント認定調査票



mail
メール通知機能



マイカレンダー

1階層

※1階層は他社ソフト使用可能

【有料対象顧客】

- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネジャー
- ・介護サービス事業者

介護業務システム

- ・訪問看護計画書
- ・訪問看護指示書
- ・訪問看護記録I
- ・訪問看護記録II
- ・情報提供書
- ・医療・介護保険請求
- ・報告書

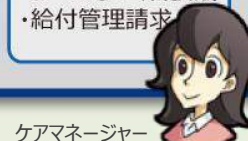


医師
(病院・在宅医療)



訪問看護師

- ・アセスメント
- ・ケアプラン作成
- ・居宅サービス計画
- ・提供票
- ・モニタリング
- ・サービス担当者会議
- ・給付管理請求



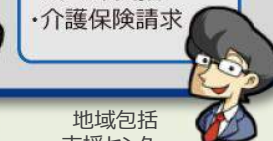
ケアマネジャー

- ・訪問介護計画書
- ・介護記録
- ・モニタリング
- ・シフト管理
- ・介護保険請求
- ・給与管理
- ・債権管理



ヘルパー
介護職

- ・介護予防プラン
- ・地域支援事業
- ・相談業務
- ・権利擁護
- ・基本チェックリスト
- ・ケアマネ支援
- ・介護保険請求



地域包括
支援センター

システム画面 <TOP画面>

患者ごとに
部屋を作成

- ・自治体
- ・医師会
- ・中核病院
- ・在宅医

2階層:管理者

管理者より招待された患者の担当関係者のみ部屋に入れる

TRITRUS ログアウト

サンプル事業所のケアマネ 花子さん こんにちは。

コミュニティ

マイページ 参加コミュニティ一覧 介護カナさんの部屋

前の画面へ戻る

介護カナさんの部屋

説明・確認事項 基本情報・地図 住宅情報 家族情報 医療情報 介護情報

身体・生活 認知・精神 社会 **温度板** 食事・排泄 備考

上の項目をクリックして表示・非表示できます→

■ 血圧(上) ■ 血圧(下) ■ 体温 ■ 脈拍 ■ SpO2

項目	2013/02/15	2013/02/16	2013/02/17	2013/02/18	2013/02/19	2013/02/20	2013/02/21	2013/02/22
血圧(上)	142	136	153	144	153	150	147	153
血圧(下)	99	98	95	100	99	99	98	99
体温	37.3	37.0	36.6	37.3	37.0	36.6	37.3	37.0
脈拍	65	67	75	70	75	70	68	70
SpO2	99	98	99	99	99	99	99	99

体温

過去の記録を見る

フェイスシート 新規作成 2013/02/15

サービス カレンダー 2013/02/06

おくすり手帳 2013/02/15

アセスメント (設定調査票) 2013/02/15

訪問口読ケア チェックシート 2013/01/23

データフォルダ 2013/07/23

タイムライン

ケアレポート

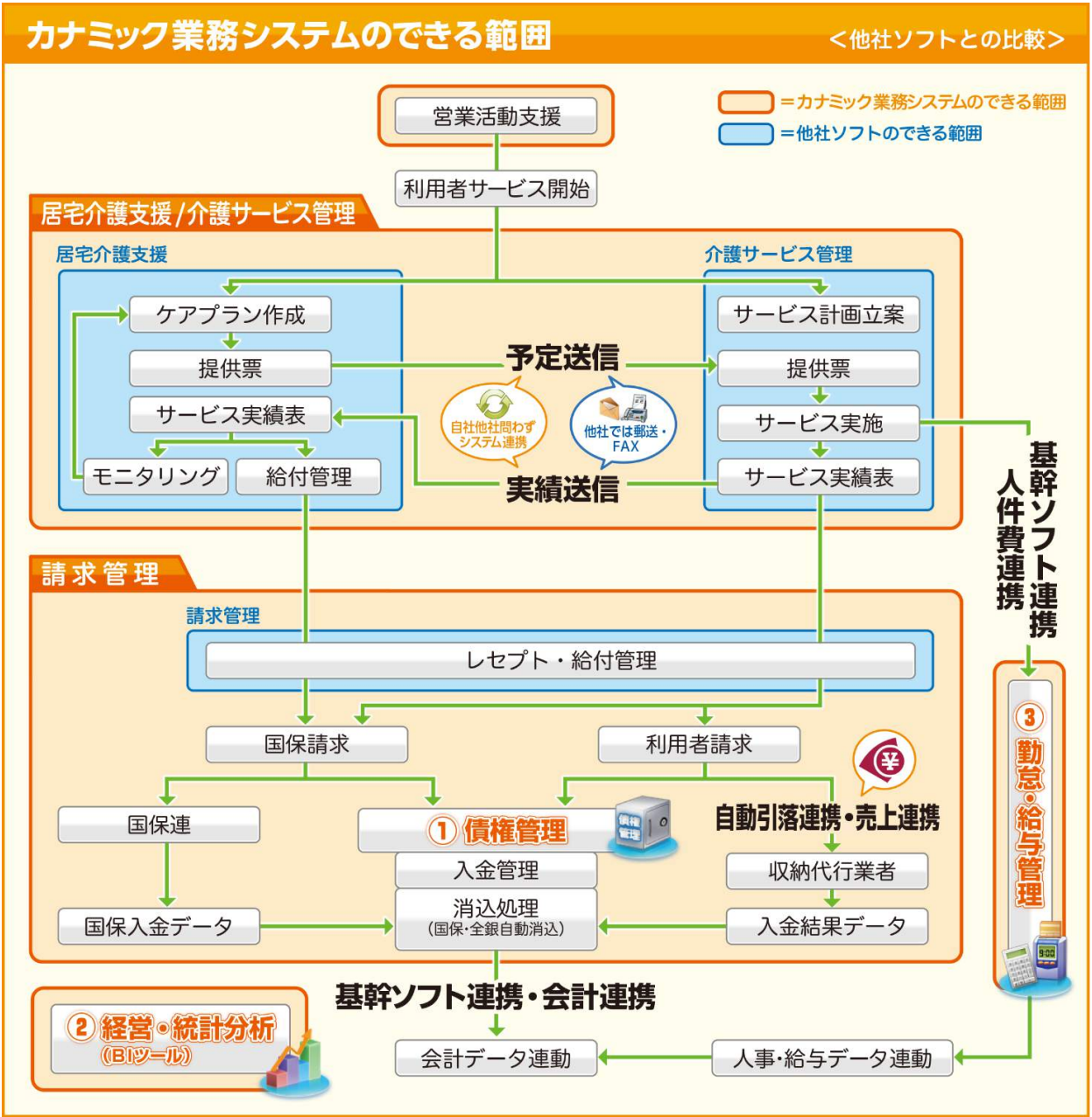
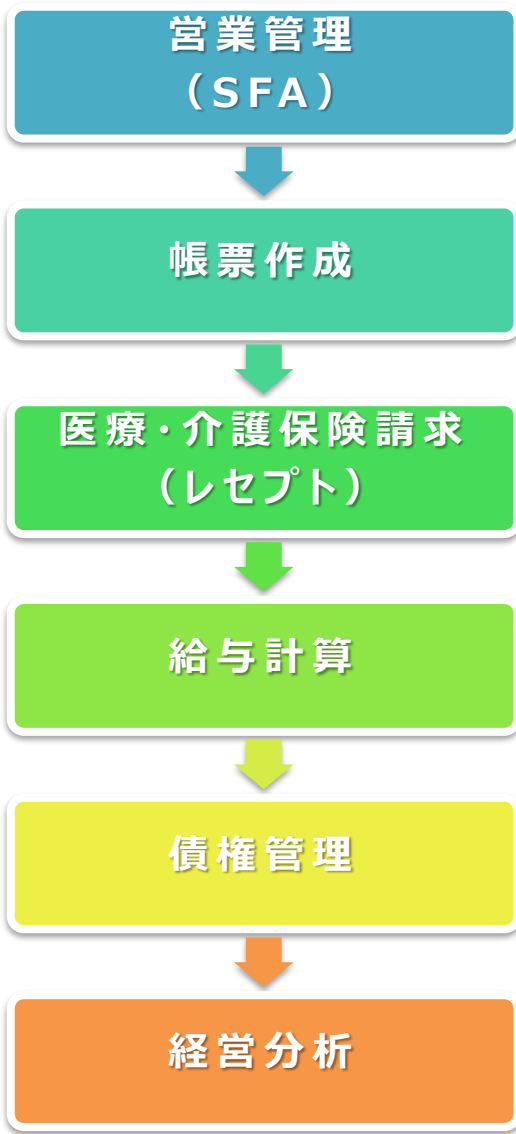
トピック	書込数(未読数)	最終更新日
利用者情報共有板	3(未2)	2012/2/16 11:57
重要!蕎麦アレルギーについて	3(未1)	2010/7/14 18:35

患者状態の
変化がわかる
患者部屋
トップ画面の
タブ表示

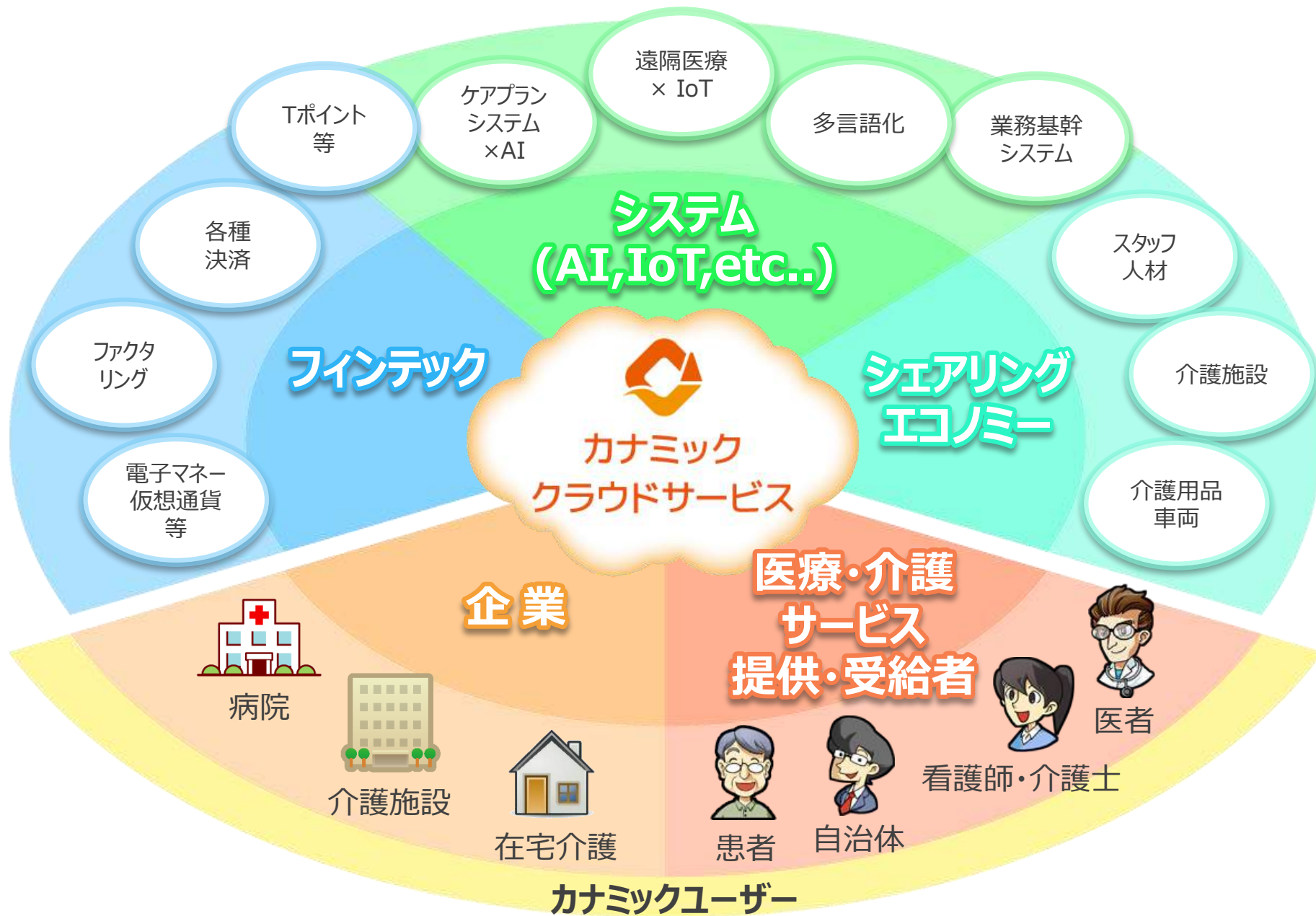
患者ごとの
定型化された
連携情報
・フェイスシート
(連携基本情報)
・カレンダー
(関係者予定)
・お薬手帳
(薬剤情報共有)

日々の変化を共有
するケアレポート
・患者情報シート
・連絡帳
・ケアプラン
・バイタル情報
・食事・水分、排泄
・訪問看護指示書
・診療情報提供書
等

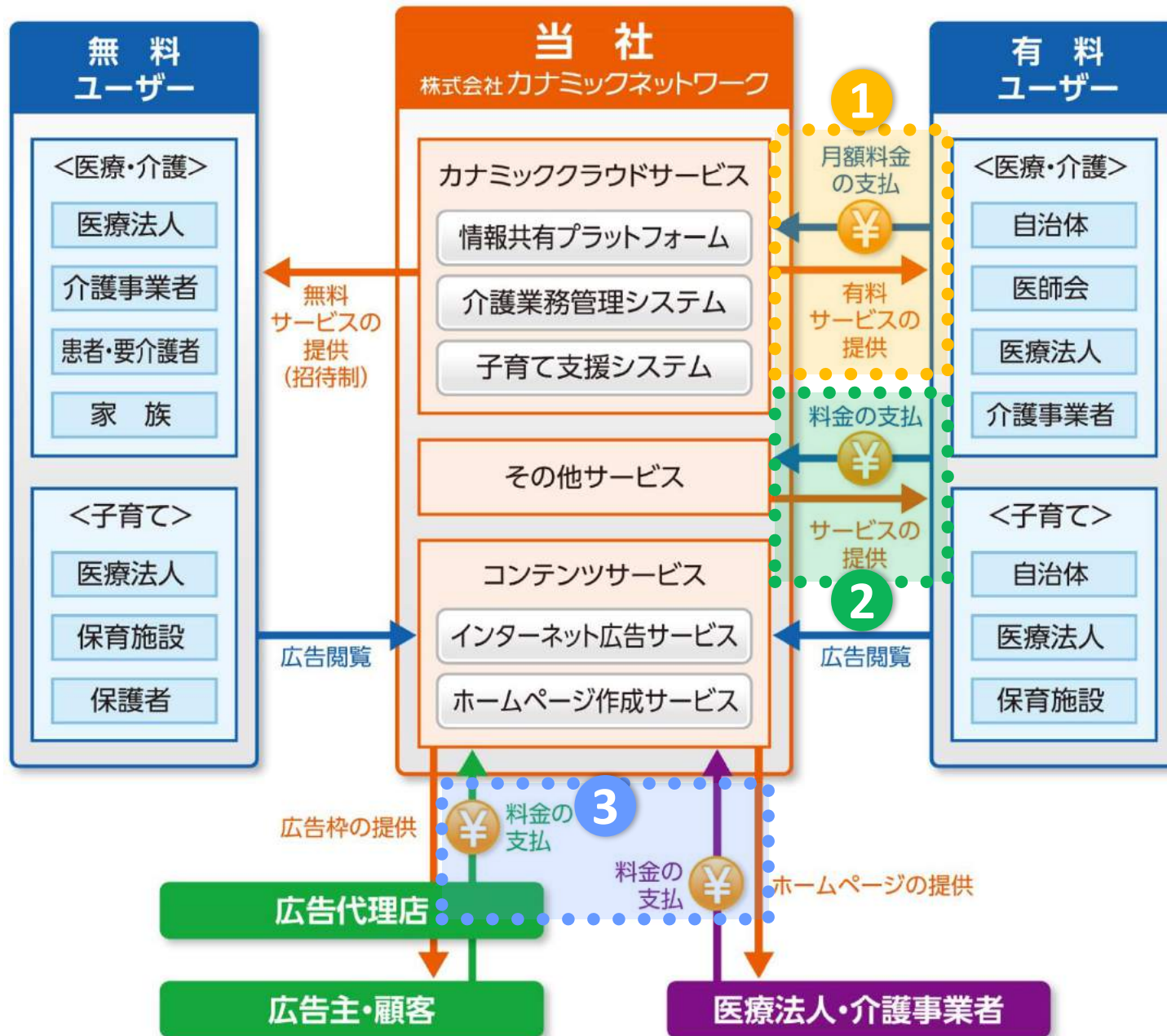
介護事業経営を支える
豊富なラインナップ



2-5.プラットフォーム化



2-6.事業系統図

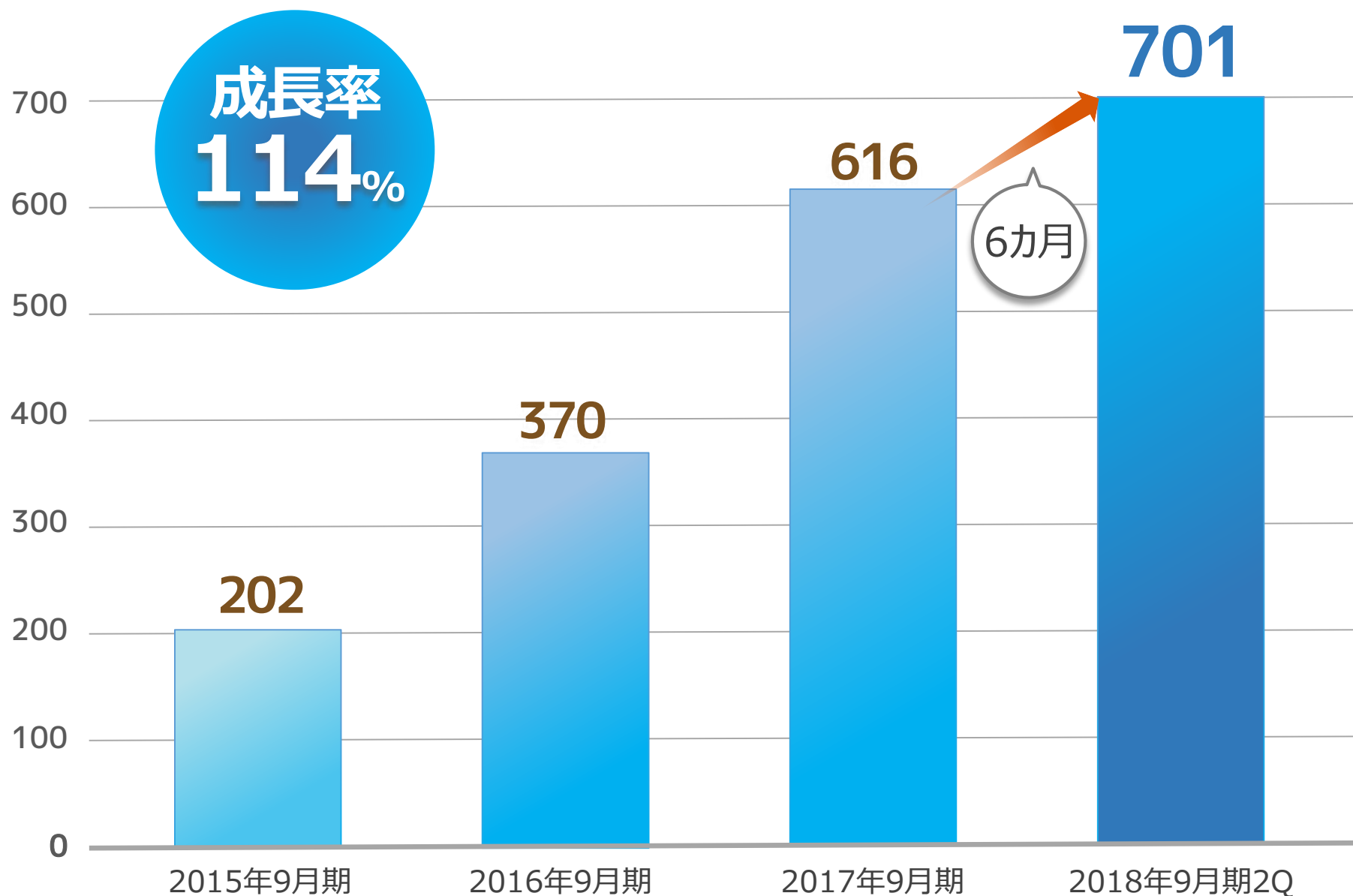


単一セグメントですが各サービス毎の売上高を
開示しております。

2018年9月期
第2四半期

1	カナミッククラウドサービス	売上高	628百万円
		売上構成比	82.4%
		前年同期比	116.7%
2	その他サービス	売上高	101百万円
		売上構成比	13.4%
		前年同期比	163.2%
3	コンテンツサービス	売上高	32百万円
		売上構成比	4.2%
		前年同期比	109.9%

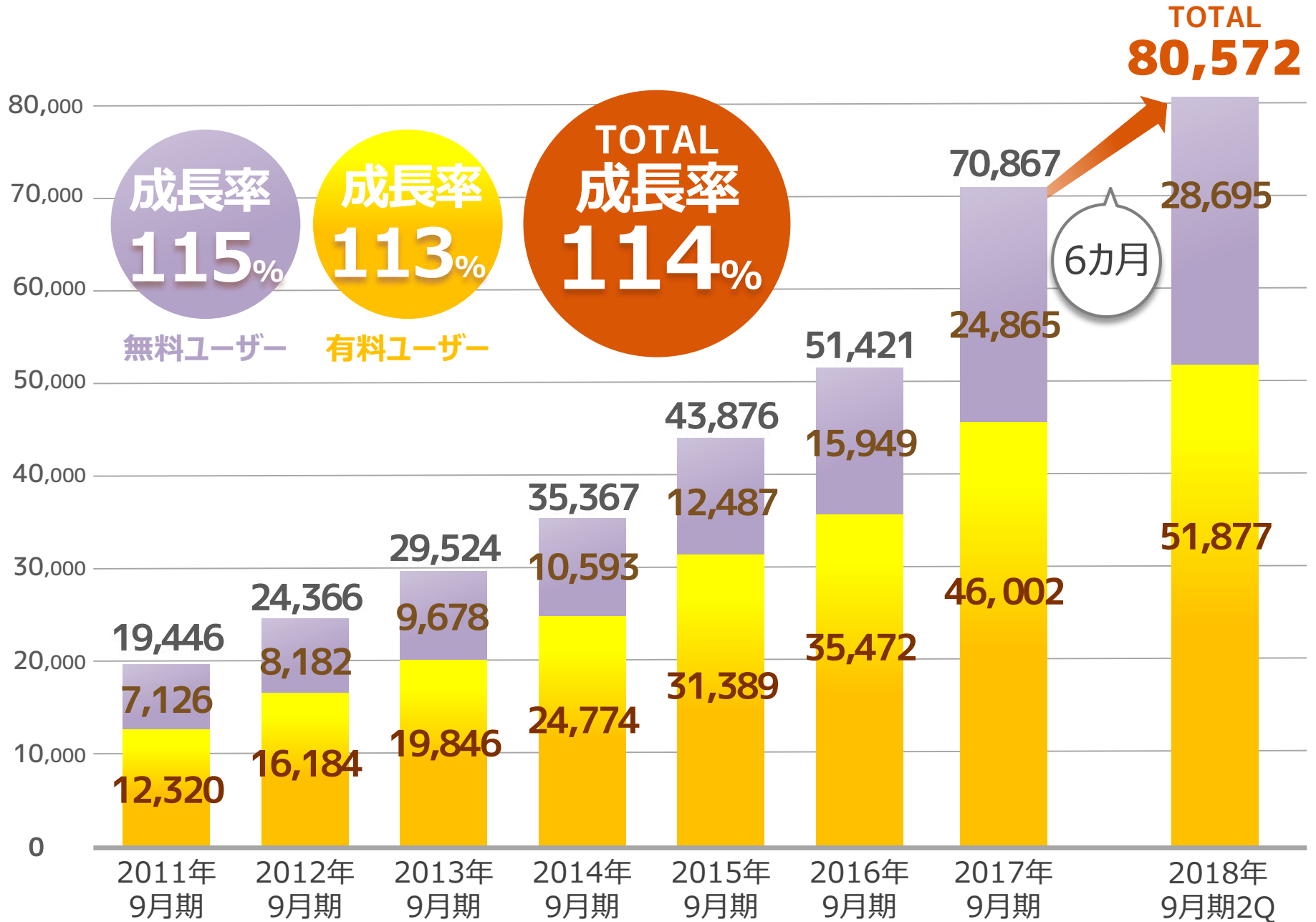
2-7.クラウドサービス 導入地域数推移



※地域数の単位は、厚生労働省が想定する地域包括ケアの人口3万人程度の「中学校区」

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2-8.クラウドサービス ユーザーID数推移



2-9.クラウドサービス：子育て支援システム

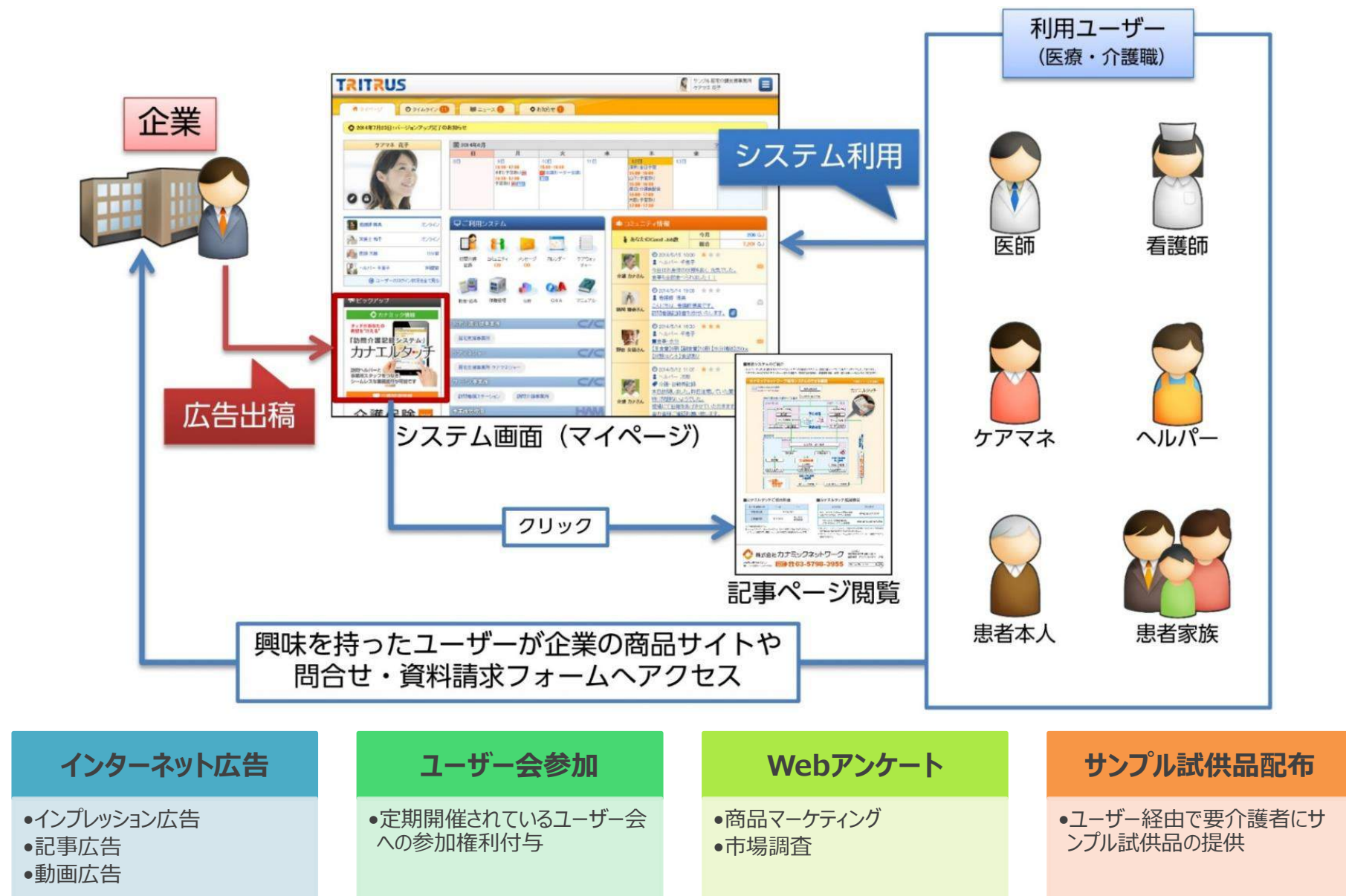
地方創生事業
にて活用

- ・自治体と母親父親を繋ぐ、ニュース配信・イベント配信機能
- ・電子母子手帳機能を拡張した、子供のブログ機能
- ・ママ友ネットワークのSNS機能など



2-10.コンテンツサービス

医療・介護の専門職向けに特化したインターネット広告配信サービス



3.業界動向

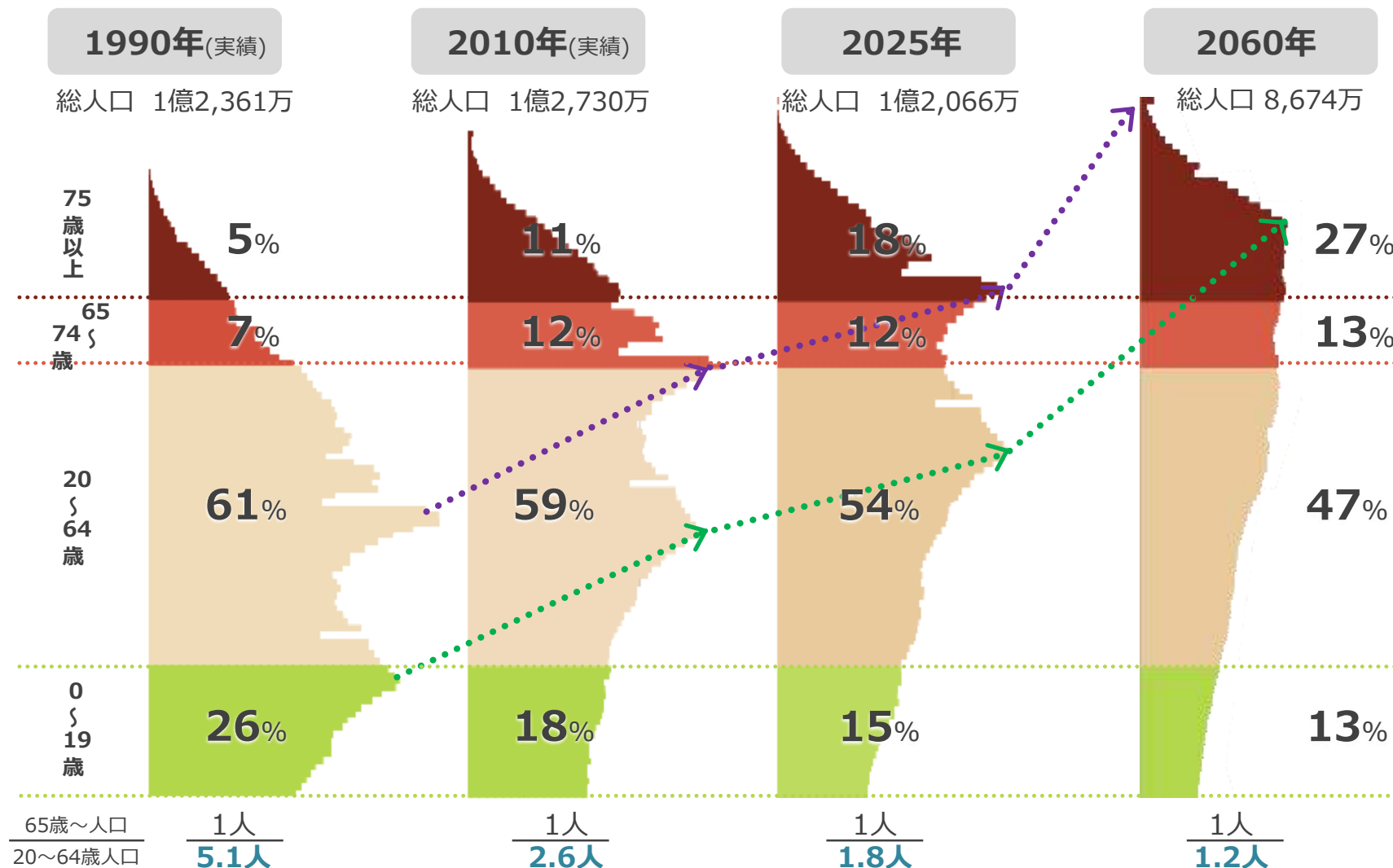


KANAMIC NETWORK

3-1. 医療・介護業界の市場規模

日本の人口ピラミッドの変化

日本の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定



出典：総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)：出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)

3-2. 医療・介護業界の市場規模

75歳以上になると要介護の認定を受ける人の割合が大きく上昇する。今後、日本の総人口が減少に転じていくなか、高齢者（特に75歳以上の高齢者）の占める割合は増加していくことが想定されている。

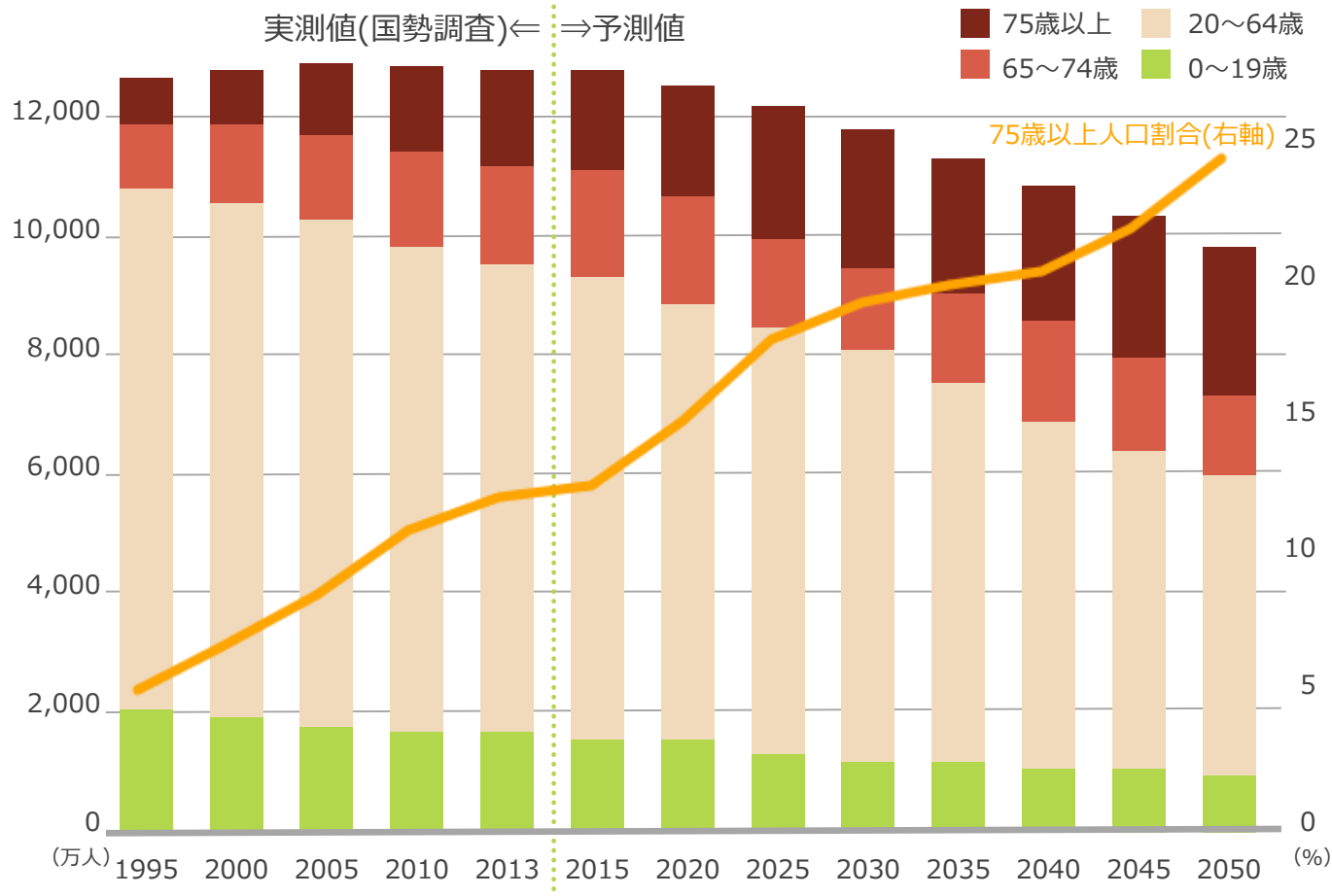
2025年に団塊の世代が75歳となり、社会保障給付費は2012年度の109.5兆円(GDP比22.8%)から2025年度の148.9兆円(GDP比24.4%)へ増加、さらに、医療介護分の社会保障給付費の将来推計は2012年の43.5兆円から2025年には73.8兆円までに膨らむ見通しとなっている。

要介護等認定の状況

65～74歳	
要支援	要介護
231 (1.4%)	491 (3.0%)
75歳以上	
要支援	要介護
1,357 (8.8%)	3,611 (23.3%)

出典：内閣府 単位：千人

今後の年齢階級別人口の推計

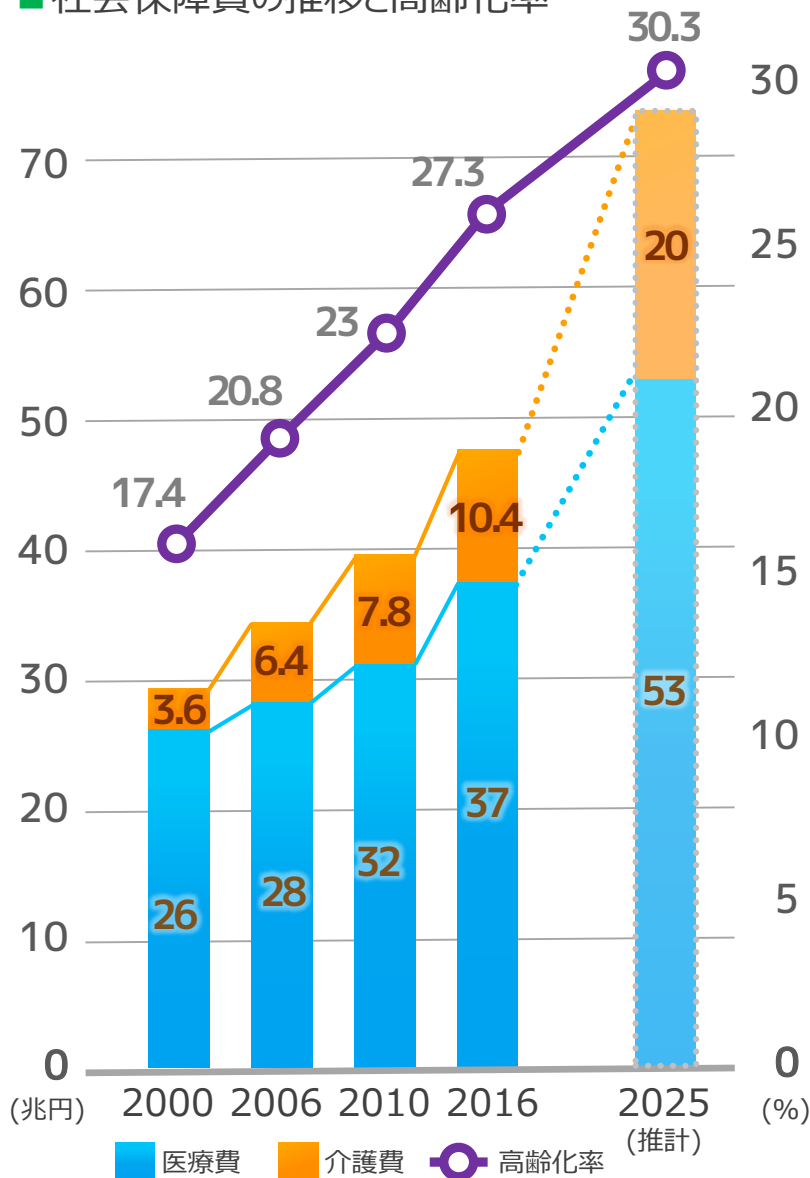


出典：2010年までは総務省、2013年は総務省統計局、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所

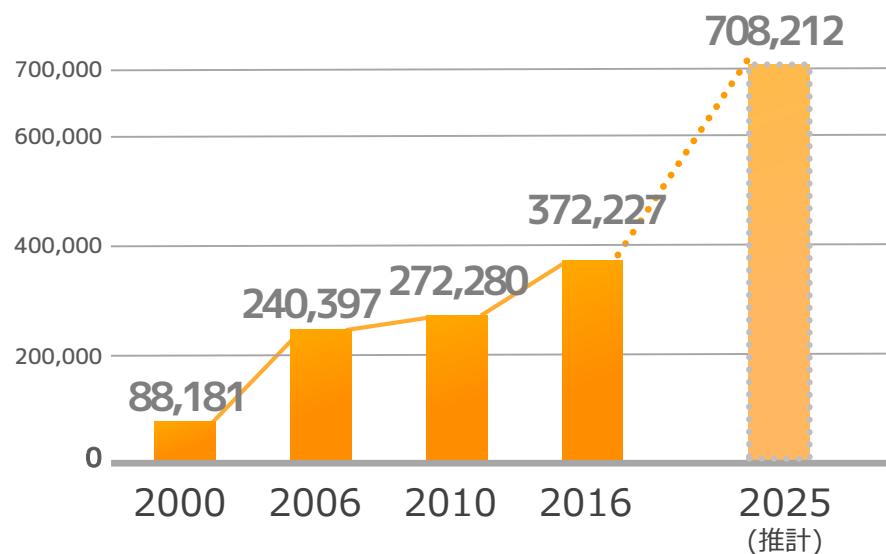
copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

3-3.医療・介護業界の市場規模

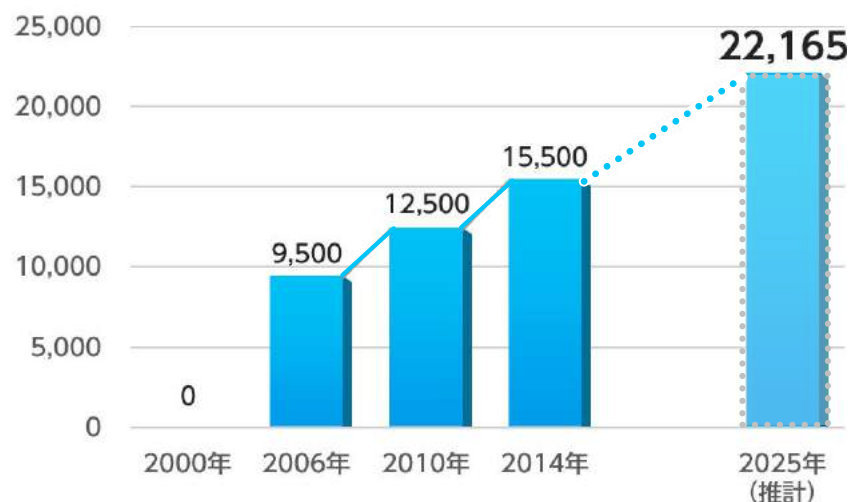
■ 社会保障費の推移と高齢化率



■ 介護事業所数の推移



■ 在宅医療を行う医療機関の推移



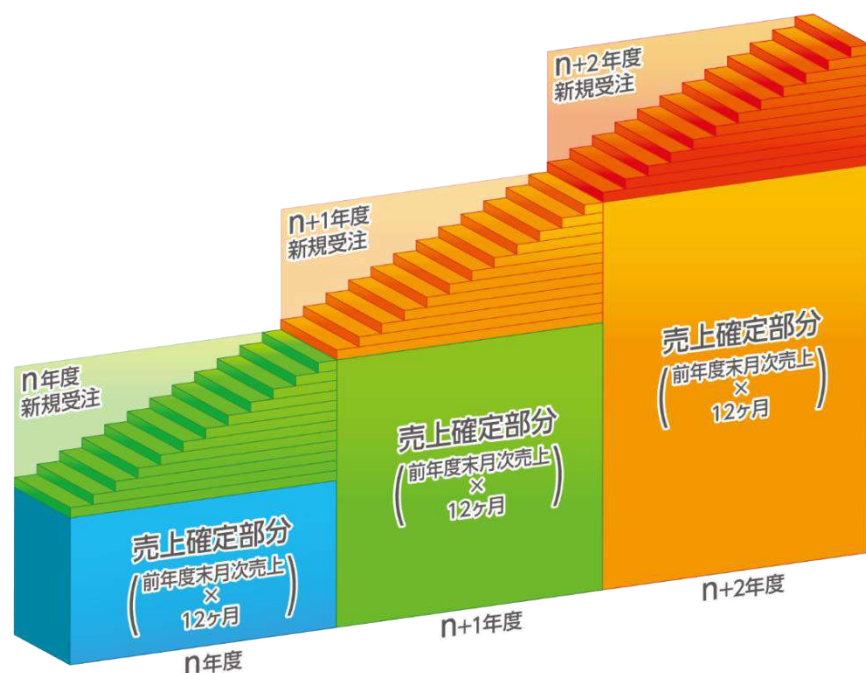
出典：厚生労働省、財務省、内閣府資料よりデータ抜粋してグラフ作成。事業所数の2025年数値は社会保障費から推計

4. 当社の強み

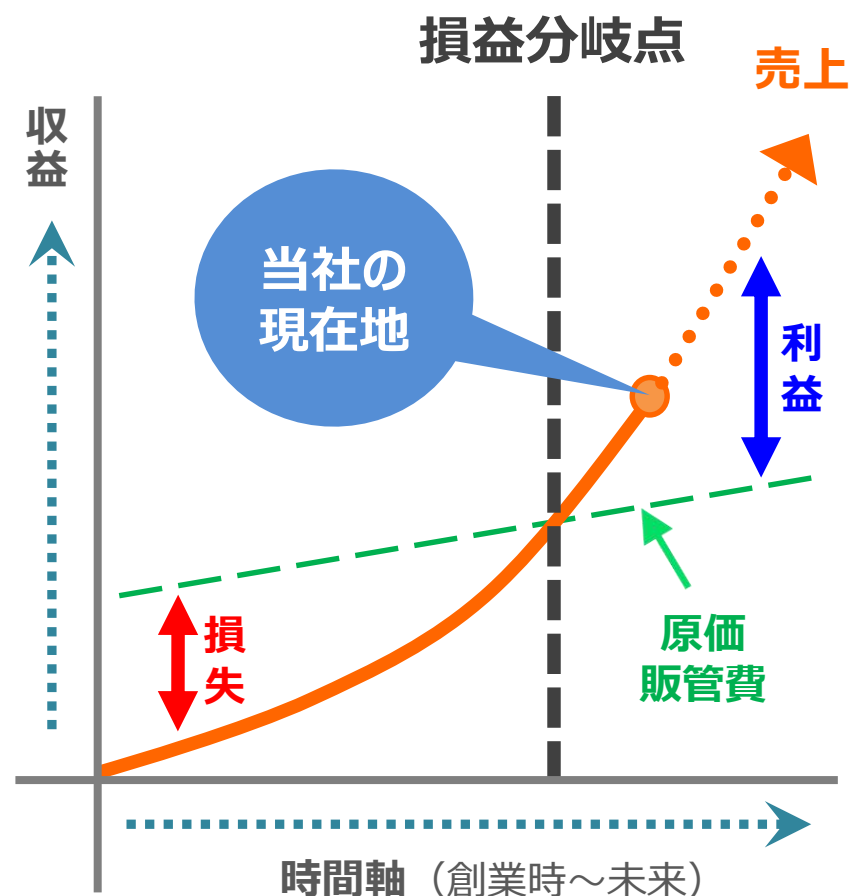
4-1.収益構造

現在、クラウドサービスの販売を主軸としておりますので、ストックビジネスであり、在庫等が無く高い収益性を実現してます。

■ ストックビジネス



■ 当社のステージ



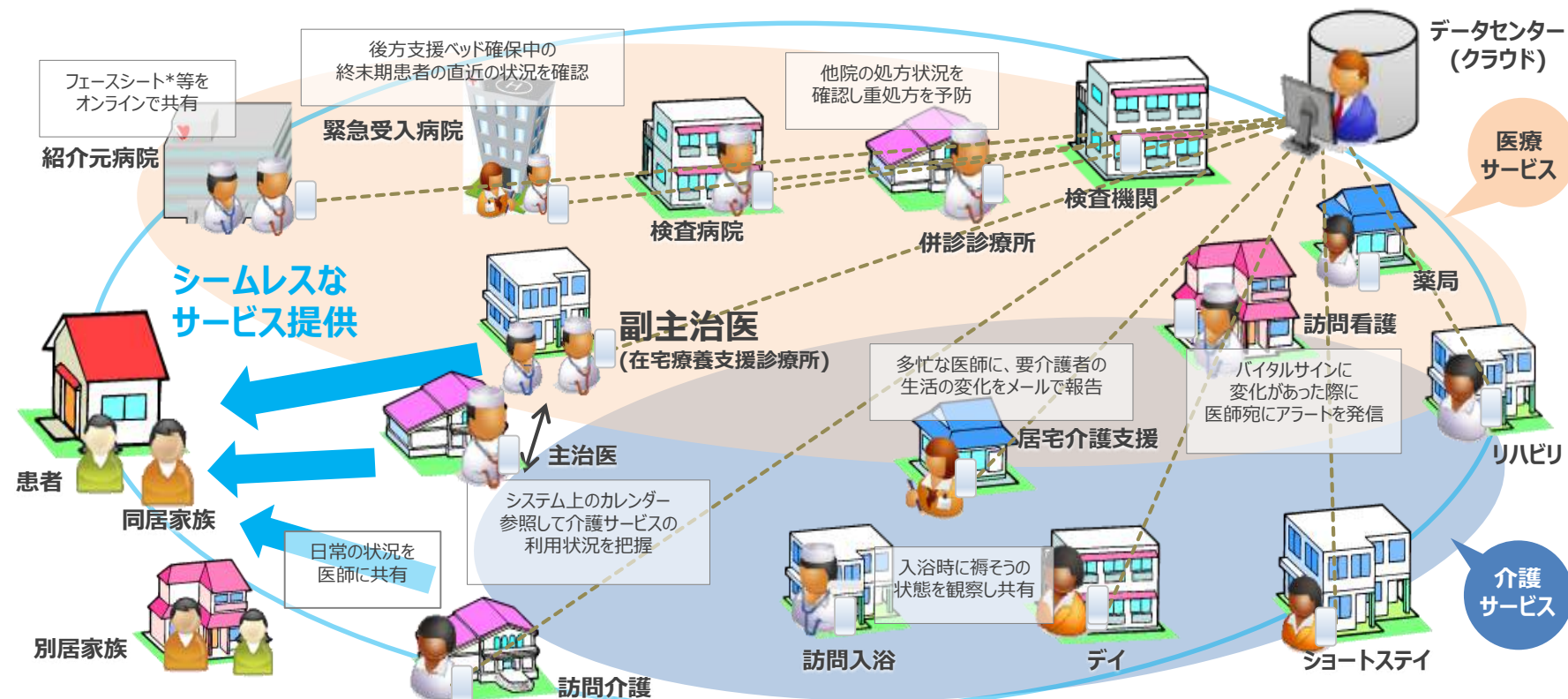
4-2. 東京大学と共同研究「柏モデル」

柏市における「長寿社会のまちづくり」プロジェクトで、住み慣れた地域で末永く暮らしていけるシステムが「柏モデル」です。

医療介護連携のクラウドは、柏モデルの中で東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究により開発、作り上げられました。



東京大学 高齢社会総合研究機構
INSTITUTE OF GERONTOLOGY, The University of Tokyo



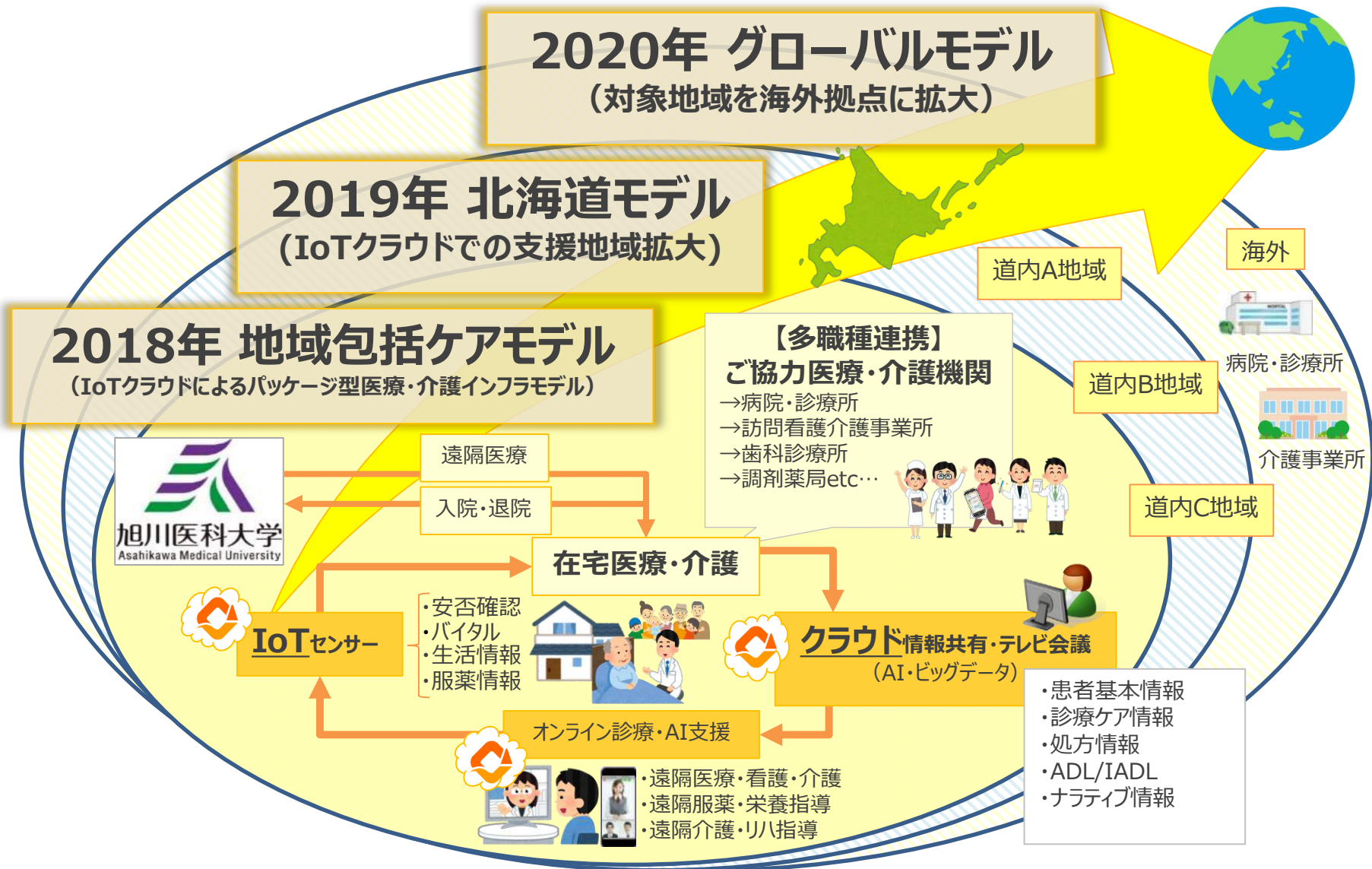
フェイスシートは、千葉県地域生活連携シート等に準拠

出典：柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会「長寿社会のまちづくり」、日本医師会「地域医療情報システム」、柏市

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

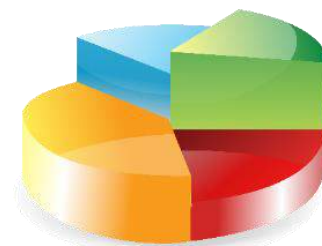
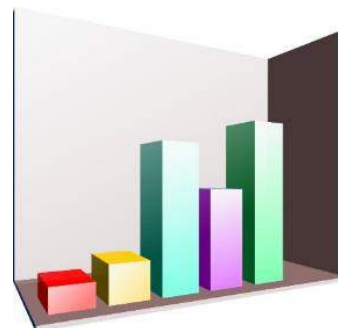
4-3.旭川医科大学との共同研究開始

国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置し「IoT クラウド利用のグローバルモデル構築」を目指します。当社は、本研究に必要な遠隔医療・看護支援等に関する、新たな情報共有項目や支援システムに関する研究開発の役割等を担います。



4-4.ビッグデータ・IoT

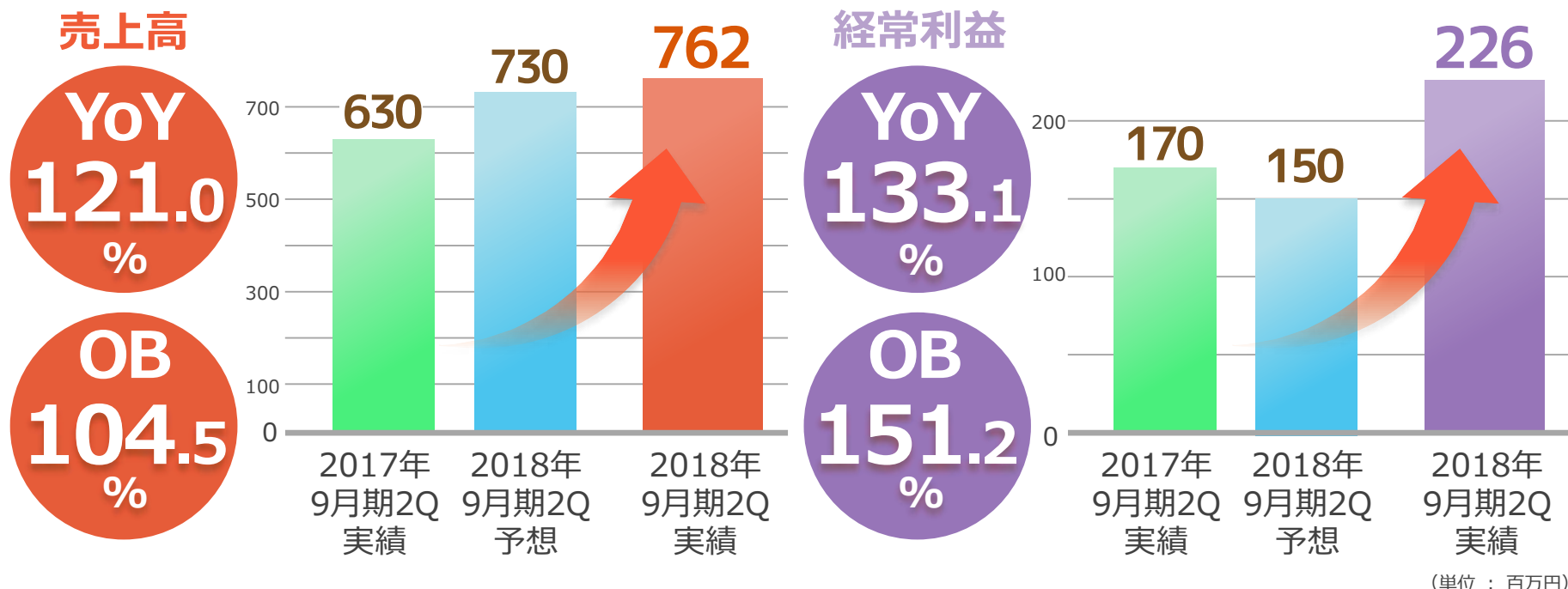
地域連携・業務のビッグデータから、各種分析を行っていきデータを利活用し優良な医療介護サービスを支えるAI化を目指す



5.業績と成長戦略



5-1.2018年9月期 第2四半期 実績

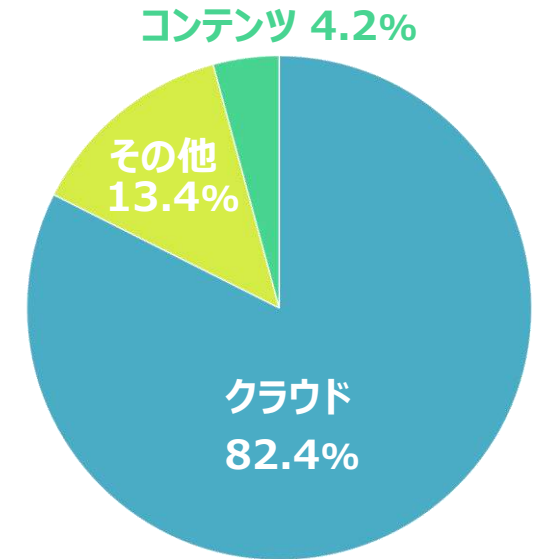
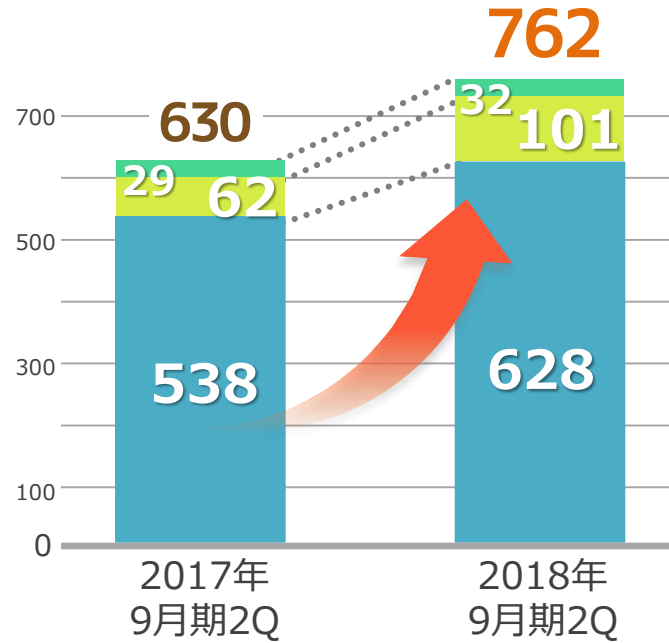
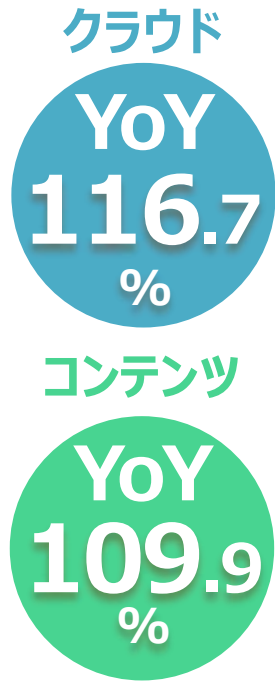


	前年同期	2018年9月期第2四半期		差異		
	実績金額	予想金額	実績金額	構成比(%)	前年比(%)	達成率(%)
売上高	630	730	762	100.0	121.0	104.5
営業利益	170	180	226	29.8	133.0	126.1
経常利益	170	150	226	29.7	133.1	151.2
当期純利益	106	100	146	19.3	137.4	146.9

1株当たり当期純利益	6.23	9.16
-------------------	------	-------------

(単位：円)
 ※2018年4月1日に1株を2株に株式分割しており、1株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。

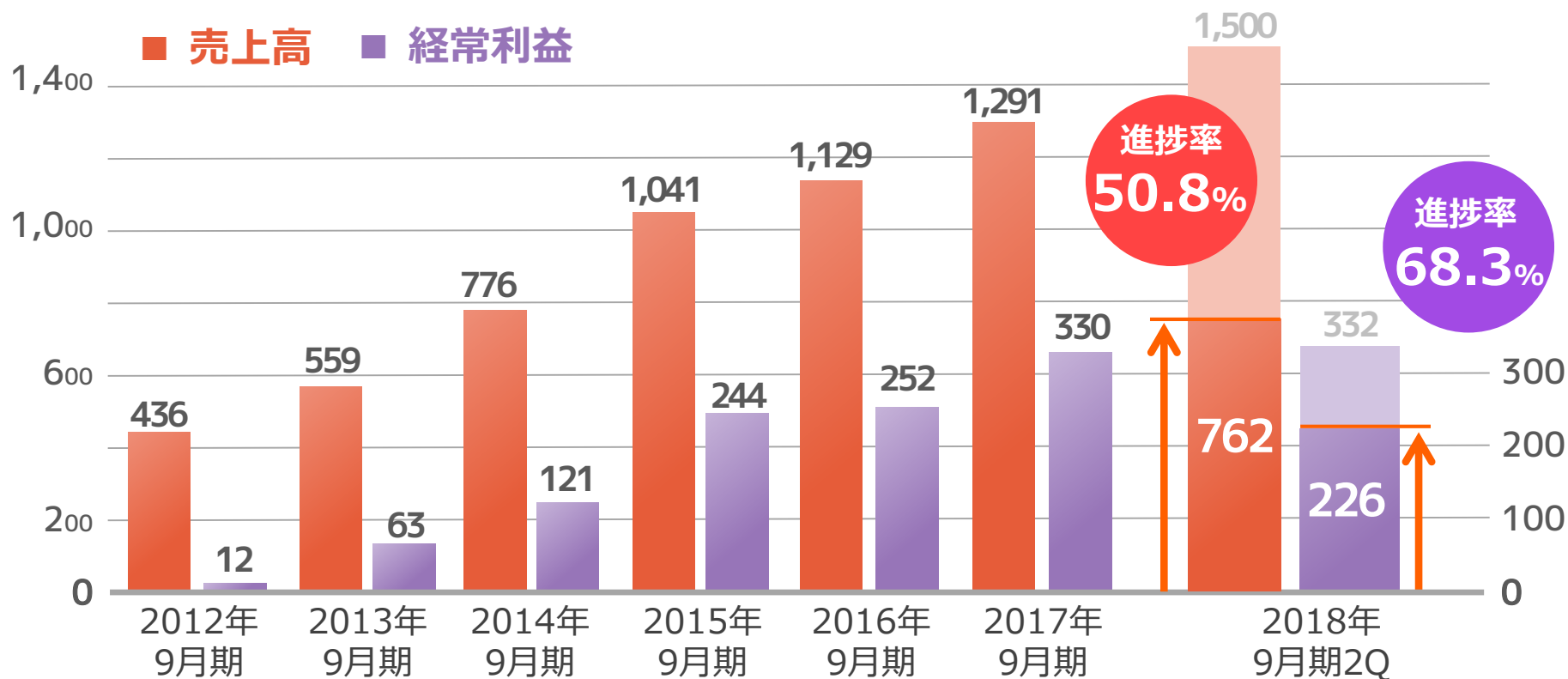
5-2.2018年9月期 第2四半期 実績 サービス別



(単位：百万円)

	2017年9月期 第2四半期 実績		2018年9月期 第2四半期 実績		対前年差異	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	前年比(%)
クラウド	538	85.5	628	82.4	89	116.7
その他	62	9.9	101	13.4	39	163.2
コンテンツ	29	4.6	32	4.2	2	109.9
合計	630	100.0	762	100.0	132	121.0

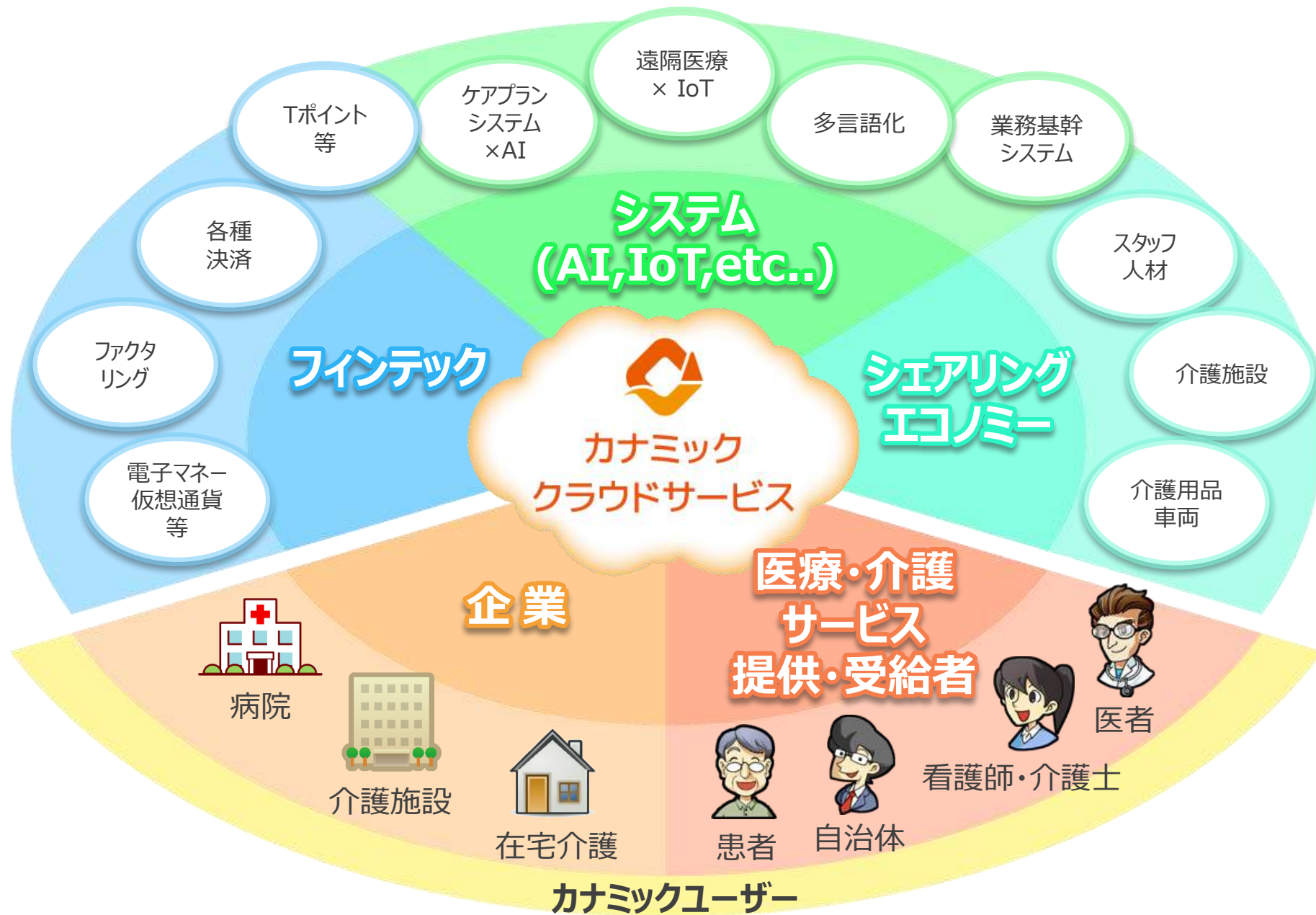
5-3.2018年9月期 第2四半期 業績進捗



(単位：百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	2014年9月期	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期予想	2018年9月期上期実績	
								1Q	2Q
売上高	436	559	776	1,041	1,129	1,291	1,500	348	414
営業利益	13	65	122	244	264	330	360	102	124
経常利益	12	63	121	244	252	330	332	102	124
当期純利益	4	33	76	161	165	223	230	67	79

5-4.成長戦略-プラットフォーム化 (再掲)



5-5.プラットフォームIoT連携



データ活用
連携



自動連動で便利
情報共有が簡単
効率UPで時間短縮

実証フィールド



総務省
「IoTサービス創出支援事業」
におけるカナミックの取り組み

5-6.介護報酬改定について①

平成30年度介護報酬改定の概要

○ 団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、平成30年度介護報酬改定により、質が高く効率的な介護の提供体制の整備を推進。

平成30年度介護報酬改定 改定率: +0.54%

I 地域包括ケアシステムの推進

■ 中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備

【主な事項】

- 中重度の在宅要介護者や、居住系サービス利用者、特別養護老人ホーム入所者の医療ニーズへの対応
- 医療・介護の役割分担と連携の一層の推進
- 医療と介護の複合的ニーズに対応する介護医療院の創設
- ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保
- 認知症の人への対応の強化
- 口腔衛生管理の充実と栄養改善の取組の推進
- 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

III 多様な人材の確保と生産性の向上

■ 人材の有効活用・機能分化、ロボット技術等を用いた負担軽減、各種基準の緩和等を通じた効率化を推進

【主な事項】

- 生活援助の担い手の拡大
- 介護ロボットの活用の促進
- 定期巡回型サービスのオペレーターの専任要件の緩和
- ICTを活用したリハビリテーション会議への参加
- 地域密着型サービスの運営推進会議等の開催方法・開催頻度の見直し

II 自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

■ 介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを実現

【主な事項】

- リハビリテーションに関する医師の関与の強化
- リハビリテーションにおけるアウトカム評価の拡充
- 外部のリハビリ専門職等との連携の推進を含む訪問介護等の自立支援・重度化防止の推進
- 通所介護における心身機能の維持に係るアウトカム評価の導入
- 褥瘡の発生予防のための管理や排泄に介護を要する利用者への支援に対する評価の新設
- 身体的拘束等の適正化の推進

IV 介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保

■ 介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保

【主な事項】

- 福祉用具貸与の価格の上限設定等
- 集合住宅居住者への訪問介護等に関する減算及び区分支給限度基準額の計算方法の見直し等
- サービス提供内容を踏まえた訪問看護の報酬体系の見直し
- 通所介護の基本報酬のサービス提供時間区分の見直し等
- 長時間の通所リハビリの基本報酬の見直し

1

5-7. 介護報酬改定について②

平成30年の医療・介護保険法の同時改定にて、医療・介護連携や介護の現場でのICT活用の加算等が増額・新設されました。

入退院時の医療・介護連携に関する報酬(イメージ)



Ⅲ-② 介護ロボットの活用の促進

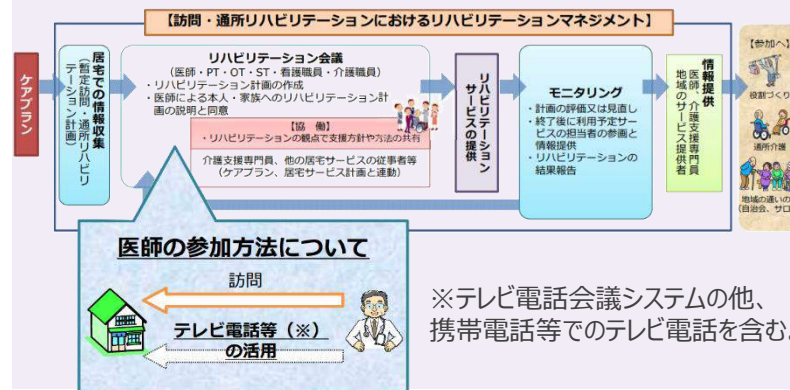
特別養護老人ホーム等の夜勤について、業務の効率化等を図る観点から、見守り機器の導入により効果的に介護が提供できる場合に関する評価を設ける。

Ⅲ-④ ICTを活用したリハビリテーション会議への参加

リハビリテーション会議(※)への医師の参加について、テレビ電話等を活用してもよいこととする。 ※関係者間でリハビリテーションの内容等について話し合うとともに、医師が、利用者やその家族に対して、その内容を説明する会議

訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション

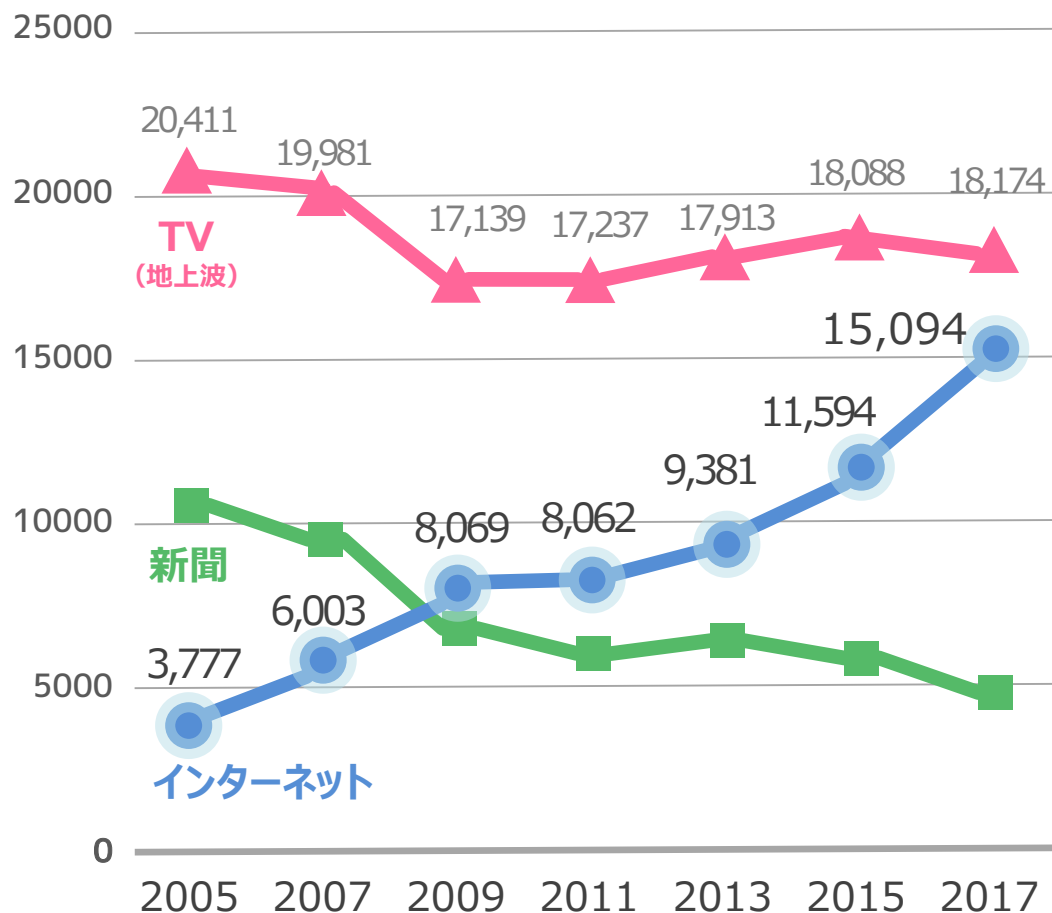
リハビリテーションマネジメントで求められているリハビリテーション会議への医師の参加が困難との声があることから、テレビ電話等を活用してもよいこととする。



出典：厚生労働省

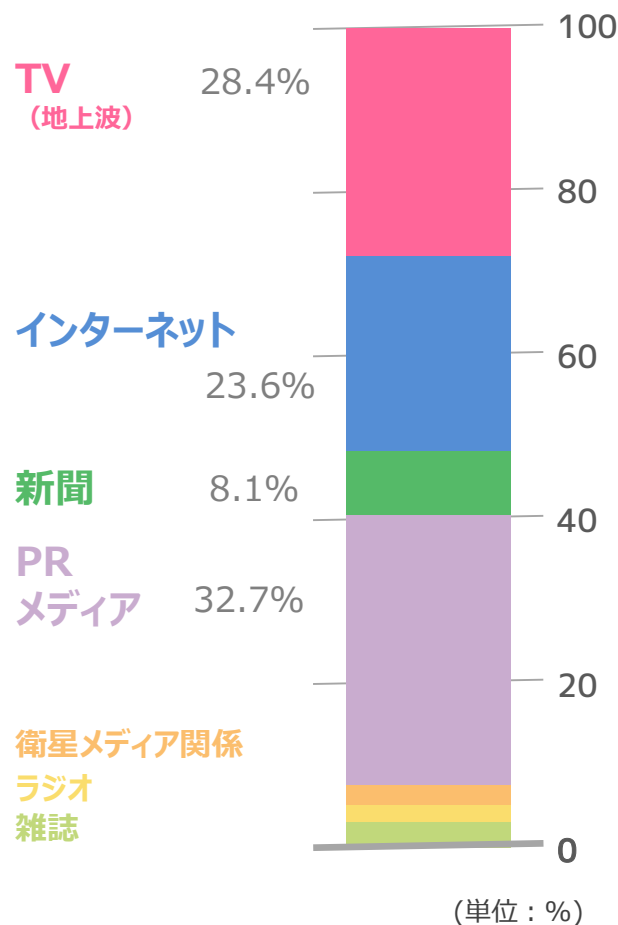
5-8.インターネット広告市場の成長

媒体別広告費の推移



(単位：億円)

媒体別広告費の構成比

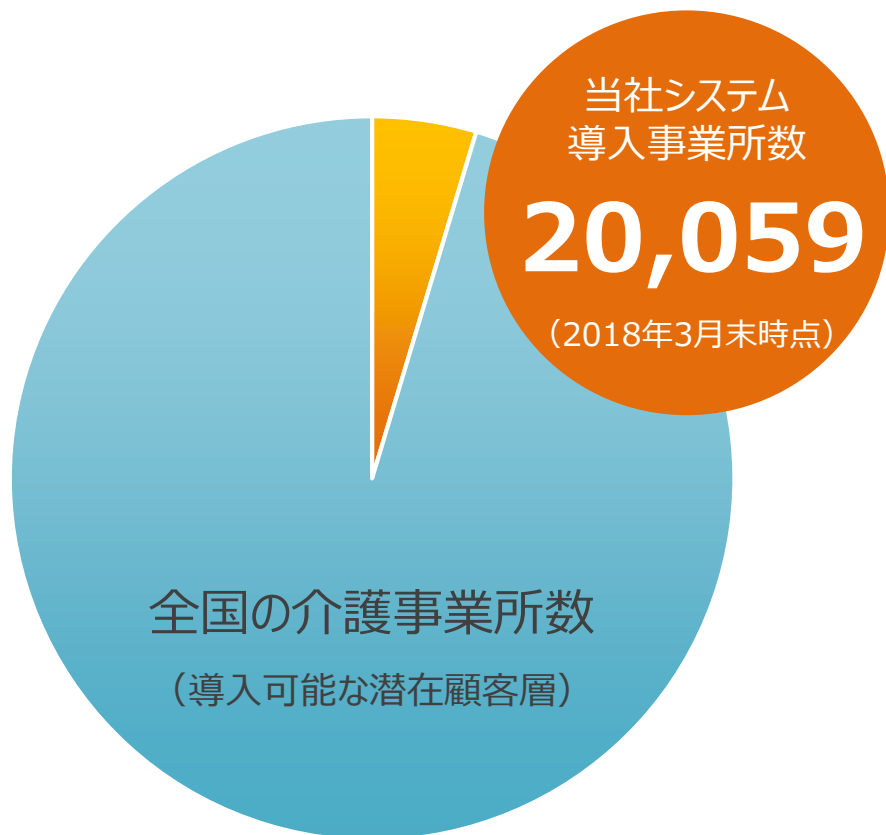


インターネット広告費は4年連続で二桁成長を遂げている。弊社の広告は医療・介護に特化したインターネット広告媒体であり医療・介護という成長市場のニーズは高い。また、閲覧者のセグメントが細やかにできるが他社との差別化になっている。

5-9.成長余地

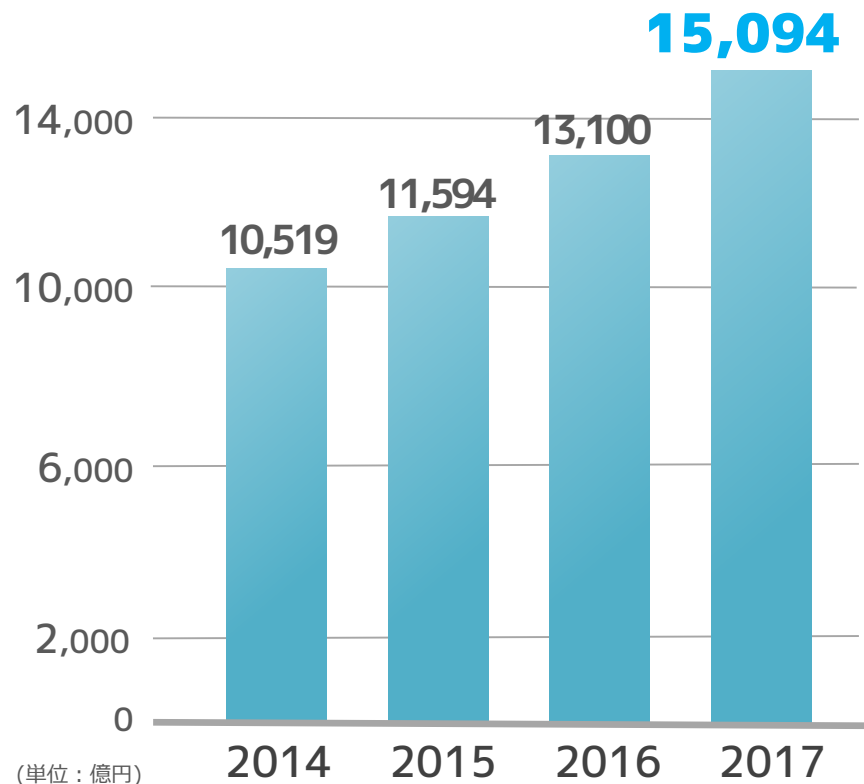
各事業領域に大きな成長余地

業務システムの
成長余地イメージ



当社の導入先は全国の
介護事業所の約5%です。

インターネット広告の
成長余地イメージ



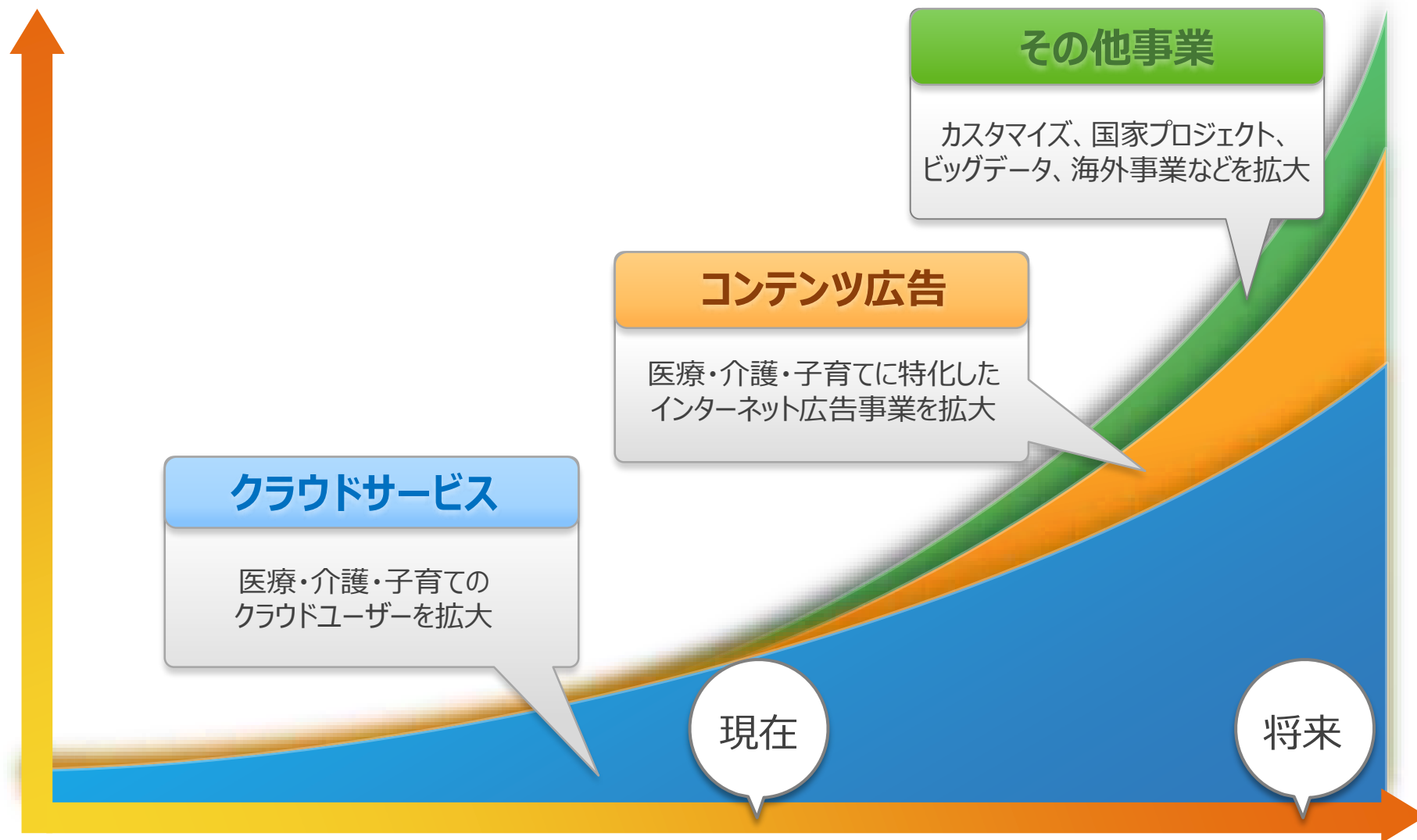
企業がインターネット広告に
かける費用は年々増加傾向です。

出典：株式会社電通「2016年 日本の広告費」

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

5-10.成長のイメージ(売上構成の変化)

カナミッククラウドサービスの各種サービスが相乗効果を出しながら成長

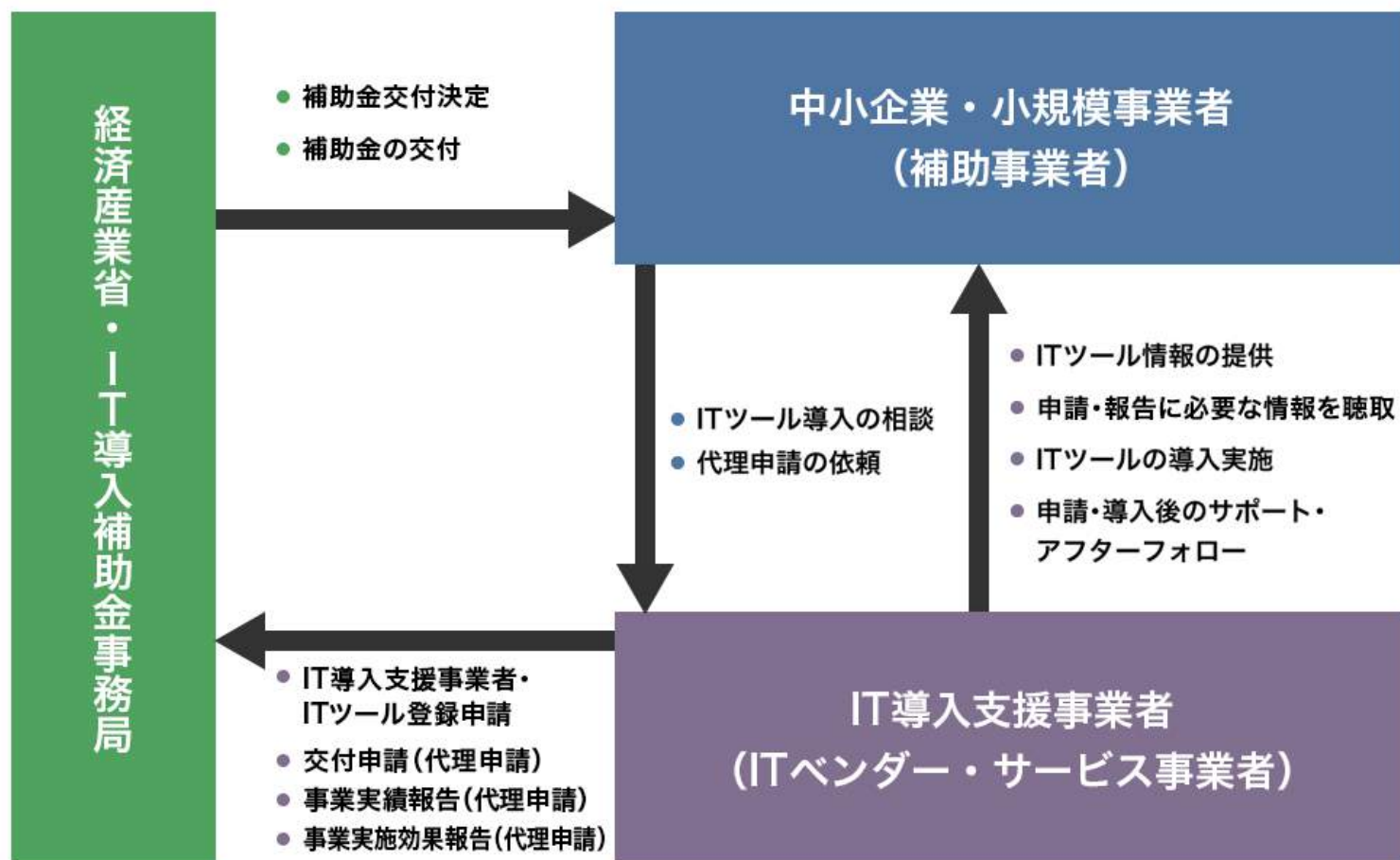


6.事業TOPICS

6-1.IT導入支援事業者に認定

2018年5月7日発表

経済産業省「サービス等生産性向上IT導入支援事業」 IT導入支援事業者に認定

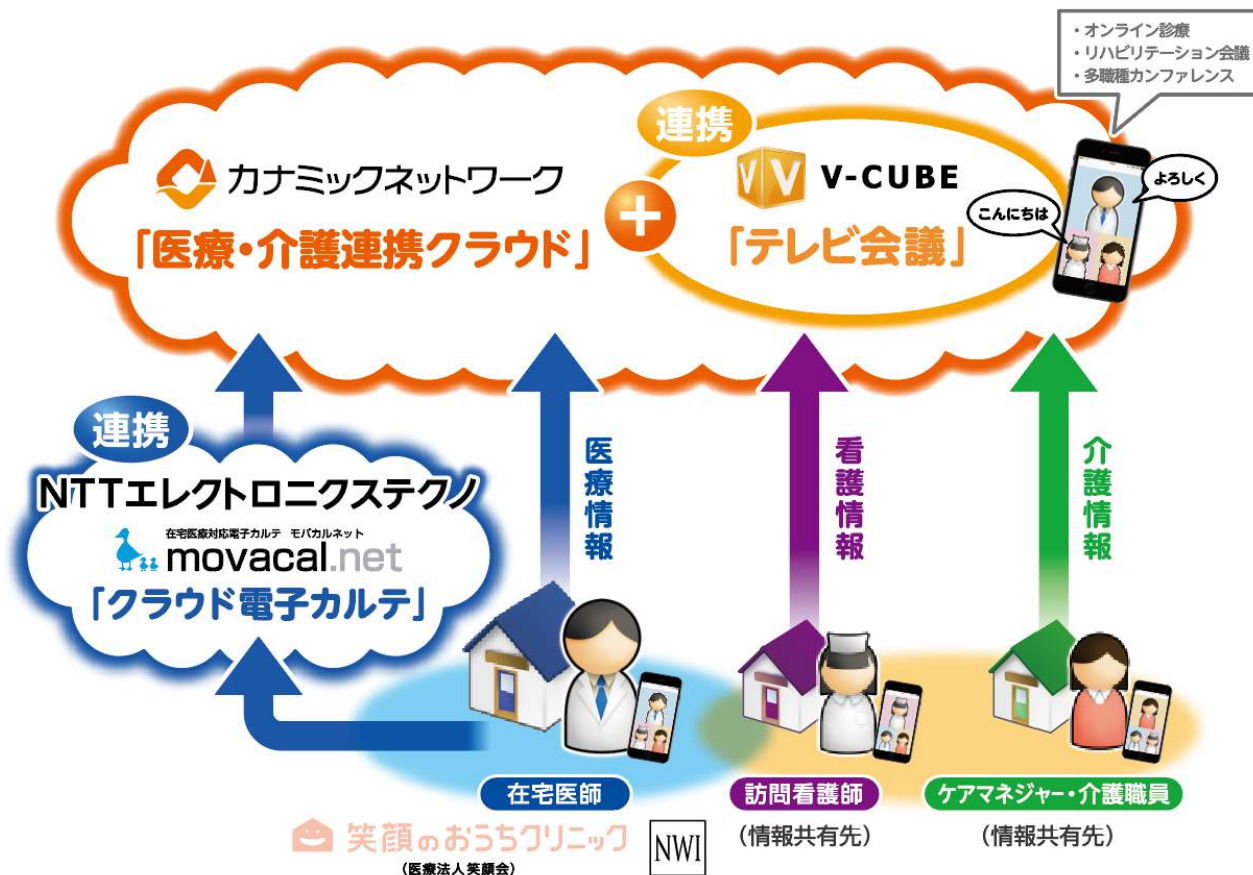


出典：IT導入補助金ホームページ

6-2.電子カルテとテレビ会議システム連携

2018年4月18日発表

電子カルテとテレビ会議システムを連携させた多職種連携を開始



当社のクラウド型医療・介護連携システム「カナミッククラウドサービス」とNTTエレクトロニクステクノのクラウド型在宅医療対応電子カルテ「モバカルネット」、ブイキューブの子会社で株式会社アイスタディが提供する「Agora.io Video SDK」の3つのクラウドサービスがシステム連携する事によって在宅医療における効率的な多職種・多法人連携を実現し先進的な地域包括ケアシステム構築を進めていきます。

6-3.多言語化

2018年4月2日発表

多言語対応のタブレット型「介護記録システム」をリリース

日本語、英語、中国語、ベトナム語、ビルマ語（ミャンマー）に対応



平成 29 年 11 月 1 日より「外国人の技術実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」の施行にあわせ、外国人技能実習制度の対象職種に介護職が追加され、外国人の介護スタッフが増加していくことが想定されます。当社の多言語対応「介護記録システム」の活用で、日本人でも外国人でも、国籍を問わず標準化・共通化した介護記録の運用が実現できます。

6-4.旭川医科大学に共同研究講座設置

2018年3月29日発表

国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置



国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置し「IoT クラウド利用のグローバルモデル構築」を目指します。当社は、本研究に必要な遠隔医療・看護支援等に関する、新たな情報共有項目や支援システムに関する研究開発の役割等を担います。

6-5.株式分割を実施

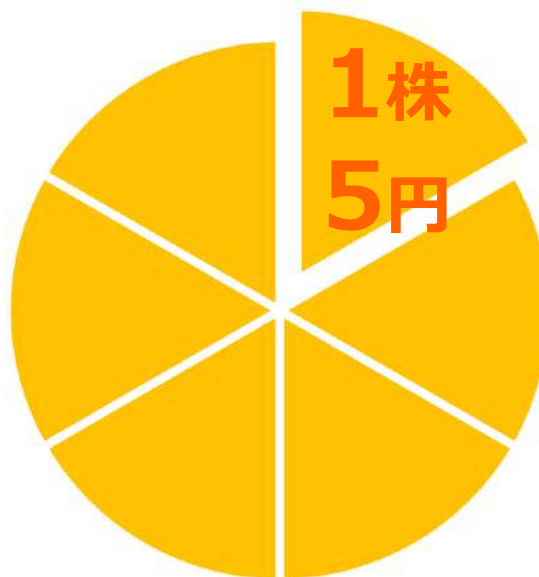
2018年3月6日発表

投資家層の拡大と当社株式の流動性向上を図るため
2016年11月普通株式1株を2株、
2017年8月普通株式1株を3株、
2018年4月普通株式1株を2株へ株式分割を行いました。

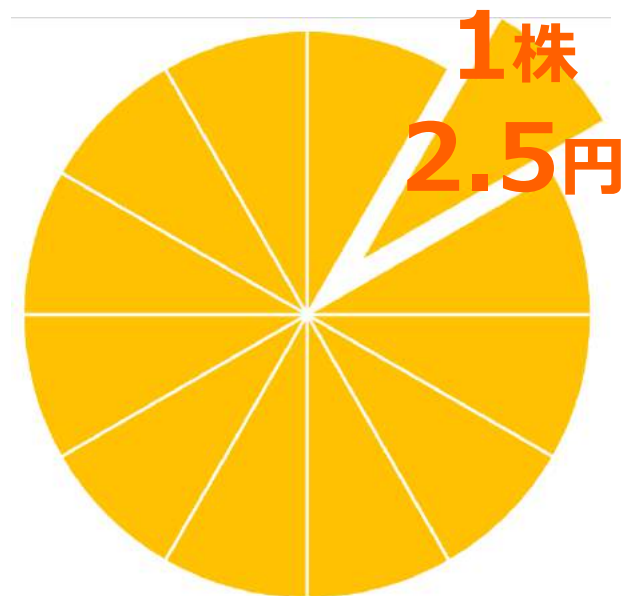
2016年9月期
配当実績



2017年9月期
配当実績



2018年9月期
配当予想



2018年9月期の配当額につきましては2017年9月期と実質同額の配当を予定しております

6-6.施設向けシステムリニューアル

2018年1月19日発表

施設業務全体の効率化をサポートし、ケア品質を向上する 「施設向けシステム」リニューアル

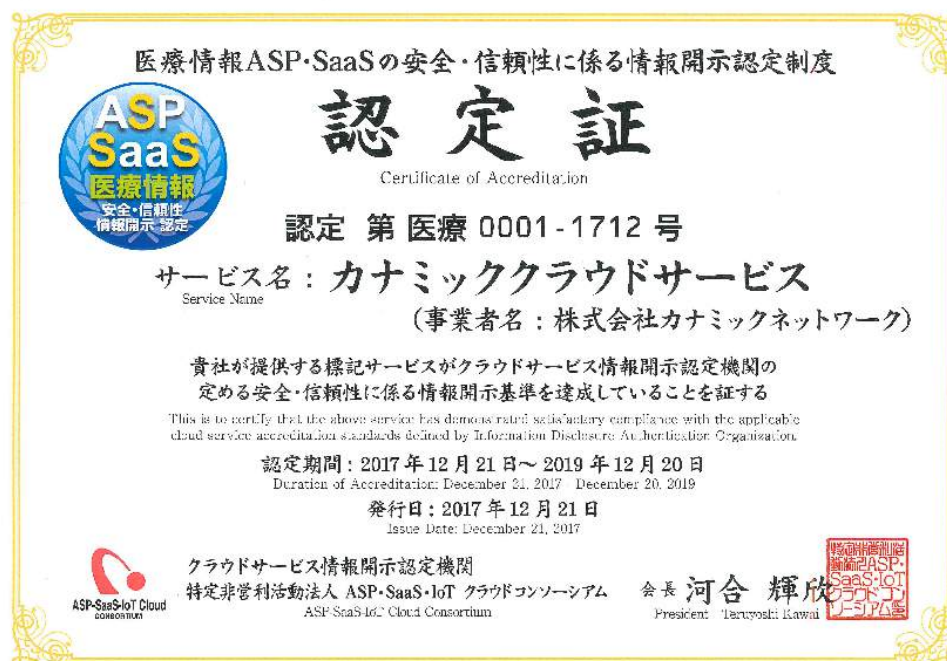


介護施設における「手間」「ミス」「ケア品質の差」を改善するシステムで施設介護業務に必要な機能が網羅的に備わっており、ご利用いただくことにより施設業務全体の効率化を図れます。

6-7.医療情報ASP・SaaSサービス認定取得

2017年12月26日発表

「医療情報ASP・SaaSサービス」 新制度の第一号認定取得



認定番号:医療 0001-1712

平成19年に総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」を立上げ、総務省主導のもと、情報開示認定制度の普及推進等を行い、安心安全なクラウドサービスの実現を推進してきた特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムの認定制度。

※今回の認定により「ASP・SaaS情報開示認定制度」から「医療情報ASP・SaaS情報開示認定制度」へ移行いたしました。

6-8. 悠翔会グループと提携

2017年12月5日発表

首都圏最大級の在宅医療機関 悠翔会グループが カナミッククラウドサービス情報共有プラットフォームを導入



医療法人社団 悠翔会
24時間対応 在宅医療ネットワーク



約 3,500 人の在宅患者に 24 時間体制で在宅医療を提供する首都圏最大級の在宅医療 悠翔会グループの在宅医療に特化したクラウド型電子カルテシステム「HOMIS」と「カナミッククラウドサービス」とシステム連携させることにより、二重三重の入力をすることなく、効率的な情報共有が実現します。

本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。